令和８年第９回定例教育委員会会議次第

日　　時　令和８年９月２８日（月）
　　午前９時３０分から
場　　所　中央図書館　２階　視聴覚ホール

議　　題

日程第一　議事事項
　議案第２８号　教育委員会職員の人事について
　議案第２９号　令和９年度当初教職員人事異動方針・細部事項について
　議案第３０号　富士見市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について
　議案第３１号　富士見市立学校県費負担教職員の職務に専念する義務の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について

日程第二　報告事項
　（１）令和８年度全国及び埼玉県の学力・学習状況調査の結果について
　（２）令和８年度いじめのない学校づくり子ども会議の報告について
　（３）令和８年度イングリッシュサマーキャンプの取組状況について
　（４）第４回小学生ロボコン・富士見市大会について
　（５）その他
　　・第４２回水谷東文化祭について
　　・第１１回社会科展の開催について

議 案 第 ２ ９ 号

令 和 ９ 年 度 当 初 教 職 員 人 事 異 動 方 針 ・ 細 部 事 項 に つ い て

令和９年度当初教職員人事異動に係る富士見市教育委員会の方針を別添のとおり定める。

令和８年９月２８日提出

富士見市教育委員会
教育長　山 口 武 士

提 案 理 由

令和９年度当初教職員人事異動を行うにあたり、本市の人事異動方針・細部事項を定めたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２５条第２項第１号の規定により、この案を提出します。

令和９年度当初富士見市教職員人事異動の方針

１　基本方針

（１）教育界の活性化を図り、気風を刷新して教育効果を高めるため、人材を抜擢し、適材を適時に適所に配置することを基本に異動を推進する。

（２）教育界の人材育成を期して、教職員の視野を広め職務経験を豊かにするための異動を推進する。

（３）教育の機会均等を図るため、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努め、地域差・学校差を是正する。

（４）教育水準の向上を図るため、長期的展望に立って、計画的に異動を実施する。

（５）新規採用教職員については、人材育成の観点及び学校間の教職員組織の均衡を勘案して適切な配置に努める。

（６）役職定年後の教職員及び再任用職員については、豊かな経験を生かすとともに、調和のとれた学校運営に資するため、適切な配置に努める。

（７）教職員の個々の能力、適性等を考慮し、積極的な登用に努める。

（８）障害のある教職員については、個々の障害の状況、能力、適性等を考慮し、適切な配置に努める。

２　転任・転補

（１）魅力ある学校づくりを推進するため、教職員の特性、能力、勤務実績及び職務経験並びに各学校の教職員構成及び地域社会との関係を考慮して、適材を適時に適所に配置する。

（２）人事異動にあたっては、教職員組織の充実を図るため、学校間の教職員の性別、年齢、教科等の構成の均衡に配慮する。

（３）教職員の視野を広め職務経験を豊かにするとともに、学校の活力を高めるため、新規採用後早期に複数校を経験するよう、積極的に異動を行う。

（４）学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、同一校勤続年数の長い者については、積極的に異動を行う。

（５）配当定員に対して欠員が生ずる場合は、西部教育事務所、他市町村教育委員会の協力を得て、その補充に努める。

（６）配当定員に対して過員が生ずる場合は、その調整のための異動を優先するなど、児童、生徒の減少に伴う人事を重点的に行う。

（７）校長、教頭及び主幹教諭については、学校の活性化を図るため、勤務の実績及び能力等を考慮し、広域的な異動を行う。

３　期限付人事交流

教員としての視野を広め資質の向上を図るとともに、児童、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的指導・支援を行う特別支援教育の充実を目指し、富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員との期限付人事交流を積極的に行う。

令和９年度当初富士見市立学校教職員人事異動方針細部事項

令和９年度当初富士見市立学校教職員人事異動は、「令和９年度当初富士見市教職員人事異動の方針」に基づき、次に掲げる各項目に従い実施する。

１　基本方針関係

（１）新規採用教職員

新規採用教職員の配置については、採用候補者名簿に登載された者の中から、人材育成の観点及び学校間の教職員組織の均衡を勘案して行う。

（２）再任用職員

再任用職員については、従前の勤務実績等に基づく選考により再任用する。

なお、再任用に当たっては、当分の間、退職時における勤務校を所管する教育委員会の管内への配置を原則とする。ただし、これにより難い場合は、広域的な異動により適切に配置を行う。

（３）役職定年後の教職員

役職定年後の教職員は、当分の間、役職定年時における勤務校を所管する市町村教育委員の管内への配置を原則とする。ただし、これにより難い場合は、広域的な異動により適切に配置を行う。

２　転任・転補関係

（１）転任・転補については、教職員の意向を把握し、人事異動方針及び細部事項に基づいて行う。

（２）教職員の視野を広げ、職務経験を豊かにするため、市町村間の異動を積極的に行うとともに、校種間の人事交流に努める。

（３）次の教員（教頭及び主幹教諭を除く。）、事務職員、学校栄養職員については、原則として異動を行わない。

ア　同一校在職３年未満の者

イ　産休・育休等を取得中及び妊娠中の者

ウ　休職中の者

（４）経験豊かな教職員（教頭及び主幹教諭を除く。）の異動については、各学校の教職員構成及び学校運営の適正化を図るため、計画的に推進する。

特に、教頭候補者名簿登載者の異動を積極的に行う。

（５）事務職員については、職務経験等を考慮した計画的、積極的な異動を行う。

特に、事務主幹については、同一校に複数配置をすることのないよう異動を行う。

（６）学校栄養職員については、職務経験等を考慮し、計画的、積極的な異動を行う。

（７）新規採用の教員、事務職員及び学校栄養職員については、多様な経験を積ませ、資質の向上を図るため、採用後６年以内に異動を行う。その際、原則として他市町村間の異動を行う。

（８）学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、教員、事務職員及び学校栄養職員は、同一校在職１０年以内に異動を行う。

特に、７年以上の者については、積極的に異動を行う。

（９）欠員を補充するための異動については、市町村間、教育事務所間、校種間の異動も含め、重点的に行う。

(10) 過員を調整するための異動については、優先して行う。

特に、市町村間、教育事務所間、校種間の異動も含め、重点的に行う。

また、小・中・特別支援学校間の異動については、資格及び特性等を考慮して積極的に行う。

(11) 管理職の異動については、学校の効率的運営と適正な管理が行われるよう、年齢・経験年数・特性等を考慮して行う。

また、原則として、校長・教頭の同時異動は行わない。

(12) 地域差・学校差の是正を図るため、校種及び学校規模等を配慮し、市町村間・教育事務所間の異動を行う。

(13) 魅力ある学校づくりを推進するために、市町村間の異動に努める。

(14) 小中学校９年間を一貫した教育及び特別支援教育の推進を図るために、小・中・特別支援学校間の異動に努める。

(15) 教職員の異動については、個々の能力が十分に発揮できるよう配慮する。

(16) 障害のある教職員の異動については、個々の障害の状況、能力、適性等を考慮して行う。

(17) 教職員の心身の状況に応じて、可能な範囲で人事上の配慮を行う。

(18) 子育てや介護など、教職員の家庭状況に応じ、可能な範囲で人事上の配慮を行う。

３　期限付人事交流

教員としての視野を広め資質の向上を図るとともに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的指導・支援を行う特別支援教育の充実を目指し、別紙「令和９年度当初教員人事異動における富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員の期限付人事交流に関する実施要領」に基づき、富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員との期限付人事交流を積極的に行う。

４　その他

（１）長期的展望に立った人事異動計画の立案と実施について

教育委員会及び校長は、各学校の教職員構成の適正化に配慮し、長期的展望に立った人事異動計画を立案する。

（２）退職

ア　定年退職については、職員の定年等に関する条例の定めるところによるものとする。

イ　勧奨退職については、学校職員勧奨退職取扱要綱に定めるところによるものとする。

令和８年度、退職の勧奨は原則行わない。ただし、勧奨退職制度を廃止するものではないことから、退職を願い出た者の中で、当該制度の趣旨に沿う場合には柔軟に対応する。

なお、学校職員勧奨退職取扱要綱第２の「教育長が定める期日」は、令和８年１２月８日とする。

（３）降任

ア　管理職の希望による降任については、「校長、副校長及び教頭の希望による降任制度実施要綱」に基づき行う。

イ　主幹教諭の希望による降任については、「校長、副校長及び教頭の希望による降任制度実施要綱」に準じて行う。

別紙

令和９年度当初教員人事異動における富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員の期限付人事交流に関する実施要領

１　趣旨

この要領は、富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員の人事交流を通して、教員としての視野を広め資質の向上を図るとともに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的指導・支援を行う特別支援教育の充実に資することを目的として、期限付人事交流に必要な事項を定めるものである。

２　交流の方法

富士見市教育委員会(以下、「教育委員会」という)は、富士見市立小・中学校(以下、「小・中学校」という)、富士見市立富士見特別支援学校(以下、「富士見特別支援学校」という)との連携、協力を図り、校長から推薦された者の中から、期限付人事交流の対象者を決定する。

３　交流の期間

期間は、原則として３年とする。

４　交流対象者

交流に基づく配属先となる学校に必要な小学校又は中学校の教諭の普通免許状を所有し、異校種での勤務を希望する意欲のある教員のうち、校長の推薦に基づき、教育委員会が適当と認めた者。

５　実施手続き

（１）手続き

ア　小・中学校の場合

小・中学校長は、「富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流推薦書」（様式１－１小学校、様式１－２中学校）に推薦する人物の「人事に関する調書」の写しを添付し、教育委員会へ提出する。

イ　富士見特別支援学校の場合

富士見特別支援学校長は、「富士見市立小・中学校との期限付人事交流推薦書」（様式２）に推薦する人物の「人事に関する調書」の写しを添付し、教育委員会へ提出する。

（２）提出期限

令和９年度当初人事関係書類提出日

様式１－１（小学校）

富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流推薦書

令和　　年　　月　　日

（宛先）富士見市教育委員会教育長

富士見市立　　小学校
校　長

令和９年度当初人事における、富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流について、下記の職員を推薦いたします。

記

職名	氏　名	年齢	勤務校 年　数	所　　見 （主な校務分掌・研修歴等）	備考

様式１－２（中学校）

富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流推薦書

令和　　年　　月　　日

（宛先）富士見市教育委員会教育長

富士見市立　　中学校
校　長

令和９年度当初人事における、富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流について、下記の職員を推薦いたします。

記

職名	氏　名	年齢	教科	勤務校 年　数	所　　見 （主な校務分掌・研修歴等）	備考

様式２

富士見市立小・中学校との期限付人事交流推薦書

令和　　年　　月　　日

（宛先）富士見市教育委員会教育長

富士見市立富士見特別支援学校

校　長

令和９年度当初人事における、富士見市立小・中学校との期限付人事交流について、下記の職員を推薦いたします。

記

職名	氏　名	年齢	学部	勤務校 年　数	所　　見 （主な校務分掌・研修歴等）	異動希望 校　　種	備考

議 案 第 ３ ０ 号

富士見市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について

富士見市立小・中学校通学区域に関する規則（昭和５６年教委規則第４号）の一部を改正する規則を別紙のとおり制定する。

令和８年９月２８日提出

富士見市教育委員会
教育長　山 口 武 士

提 案 理 由

鶴瀬駅西口地域の町名地番変更に伴い、富士見市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２５条第２項第２号の規定により、この案を提出します。

富士見市立小・中学校通学区域に関する規則（昭和５６年教委規則第４号）新旧対照表

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>別表第１（第２条関係）
鶴瀬小学校区の項～ふじみ野小学校区の項（略）
<table><tr><td>つるせ台小学校区</td><td>上沢３丁目　鶴瀬西１丁目　鶴瀬西２丁目　鶴瀬西３丁目</td></tr></table>
別表第２（第２条関係）
<table><tr><td>富士見台中学校区</td><td>鶴瀬東１丁目　鶴瀬東２丁目　鶴瀬西１丁目　鶴瀬西２丁目　鶴瀬西３丁目　上沢３丁目　鶴馬１丁目　諏訪２丁目　大字鶴馬の一部（　　市道５１１４号線以西で富士見江川北側の地域（前谷、御庵下））</td></tr></table>
以下の項（略）

附　則
この規則は、令和８年１０月１０日から施行する。</td><td>別表第１（第２条関係）
鶴瀬小学校区の項～ふじみ野小学校区の項（略）
<table><tr><td>つるせ台小学校区</td><td>上沢３丁目　　鶴瀬西２丁目　鶴瀬西３丁目　大字鶴馬の一部（東武東上線西側の地域）</td></tr></table>
別表第２（第２条関係）
<table><tr><td>富士見台中学校区</td><td>鶴瀬東１丁目　鶴瀬東２丁目　　鶴瀬西２丁目　鶴瀬西３丁目　上沢３丁目　鶴馬１丁目　諏訪２丁目　大字鶴馬の一部（東武東上線西側の地域と市道５１１４号線以西で富士見江川北側の地域（前谷、御庵下））</td></tr></table>
以下の項（略）</td></tr>
</table>

議 案 第 ３ １ 号

富士見市立学校県費負担教職員の職務に専念する義務の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について

富士見市立学校県費負担教職員の職務に専念する義務の特例に関する規則（平成１７年教委規則第２号）の一部を改正する規則を別紙のとおり制定する。

令和８年９月２８日提出

富士見市教育委員会
教育長　山 口 武 士

提 案 理 由

官公署出頭休暇の対象範囲を拡大するため、富士見市立学校県費負担教職員の職務に専念する義務の特例に関する規則の一部を改正したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２５条第２項第２号の規定により、この案を提出します。

富士見市立学校県費負担教職員の職務に専念する義務の特例に関する規則（平成１７年教委規則第２号）新旧対照表

新	旧
（職務に専念する義務の免除） 第２条　（略） (1)　裁判員、証人、鑑定人、参考人、被害者参加人等として官公署へ出頭する場合 附　則 この規則は、令和８年１０月１日から施行する。	（職務に専念する義務の免除） 第２条　（略） (1)　裁判員、証人、鑑定人、参考人＿＿＿＿＿＿等として官公署へ出頭する場合

報告事項（１）資料

令和８年度
全国学力・学習状況調査の結果について
埼玉県学力・学習状況調査の結果について



富士見市教育委員会

全国学力・学習状況調査について

- 全国学力・学習状況調査の結果について（令和８年度全国学力・学習状況調査の結果から） …… 1
- 【資料１】平均正答率（IRT スコア）（小学校）（中学校） …… 2
- 【資料２】平均正答率　経年変化 …… 4
- 【資料３】無回答率　経年変化 …… 5
- 【資料４】質問紙の傾向（小学校）（中学校） …… 6
- 【資料５】各種指標となっている質問紙調査項目 …… 10
- 【資料６】小・中学校　質問紙と学力のクロス集計より抜粋 …… 11

埼玉県学力・学習状況調査について

- 埼玉県学力・学習状況調査の結果について（令和８年度埼玉県学力・学習状況調査の結果から） …… 1
- 【資料１】平均正答率（小学校）（中学校） …… 2
- 【資料２】解答時間 …… 4
- 【資料３】学力のレベルと伸び …… 5
- 【資料４】学力を伸ばした児童生徒 …… 6
- 【資料５】学力の伸び …… 7
- 【資料６】学習方略・非認知能力 …… 8
- 【資料７】質問紙調査 …… 10
- 【資料８】規律ある態度 …… 12

全国学力・学習状況調査の結果について

調査の目的

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査概要

○実施日　　令和８年４月２０日(月)～２３日(木)
【質問紙：～５月８日（金)、英語話すこと：～５月２９日（金)】

○調査対象　　①児童生徒：小学校６年生、中学校３年生
②学校：小学校等（約 19,000 校)、中学校等（約 10,000 校）

○調査事項　　①児童生徒：教科調査〔国語、算数･数学、英語（中のみ)〕
：質問調査
②学校　　：質問調査

○調査問題　　・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査を実施。

○その他　　・質問紙と中学校英語でＣＢＴ実施

① 平均正答率（小学校）

（令和８年度）　　単位（%）　太字：全国値以上　　（令和７年度）

国　語	富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率	60	63	60.9
言葉の特徴や使い方に関する事項	**67.6**	69.3	66.8
情報の扱い方	51.9	53.8	52.3
話すこと・聞くこと	65.4	67.9	65.8
書くこと	**45.9**	47.7	45.7
読むこと	62.0	66.7	65.9

算　数	富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率	56	57	56.4
数と計算	60.7	61.4	61.1
図　形	54.3	56.2	55.3
測　定	**79.0**	79.3	78.1
変化と関係	**41.6**	42.0	41.1
データの活用	48.1	49.6	48.6

国　語	富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率	66	68	66.8
言葉の特徴や使い方に関する事項	74.0	77.5	76.9
情報の扱い方	**64.4**	64.8	63.1
我が国の言語文化	79.4	81.5	81.2
話すこと・聞くこと	65.7	67.3	66.3
書くこと	**70.3**	71.1	69.5
読むこと	56.4	58.4	57.5

算　数	富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率	56	58	58.0
数と計算	60.8	63.1	62.3
図形	53.2	54.7	56.2
測定	51.9	53.9	54.8
変化と関係	56.6	57.9	57.5
データの活用	61.1	63.4	62.6

○向上が見られる点　●課題

【全科目共通】
●国語・算数ともに全体の平均正答率は、県をやや下回っている

【国語】
○「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「書くこと」の領域において、平均正答率が全国を上回っており、全体の平均正答率においても全国とほぼ同等である。
●「読むこと」の領域、「思考・判断・表現」及び「記述式」の問題の平均正答率が、県及び全国と比べて下回っている。

【算数】
○「測定」、「変化と関係」の領域における平均正答率が、全国をやや上回っており、全体の平均正答率も全国とほぼ同等である。
●多くの領域や問題において、平均正答率が全国及び県より下回っているが、特に「思考・判断・表現」及び「記述式」の問題の落ち込みがやや大きい。

【考察】
◎国語、算数ともに、「思考・判断・表現」及び「記述式」の問題に課題が見られる。「なぜそうなるのか」、「どのように考えたらよいか」といった課題解決に重きをおいた学びを充実させることで改善を図りたい。
◎国語の「読むこと」については、物語や説明文等の学習の際に、読み取ったことをもとに、自分の考えを書き表す活動を取り入れることで、改善を図りたい。

① 平均正答率（中学校）※英語のみＩＲＴスコア

（令和８年度）　　単位（%）　太字：全国値以上　　（令和７年度）

国　語	富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率	**65**	66	63.9
言葉の特徴や使い方に関する事項	**64.3**	65.0	63.0
情報の扱い方	**73.7**	73.0	70.4
話すこと・聞くこと	**63.9**	65.9	63.9
書くこと	**67.9**	69.1	67.4
読むこと	**62.4**	62.2	59.7

数　学	富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率	**58**	59	57.0
数と式	**69.0**	69.1	67.8
図　形	**49.9**	52.2	48.7
関　数	**55.3**	56.7	54.8
データの活用	**53.6**	55.7	53.5

（単位 IRT スコア）

英　語	富士見市	埼玉県	全国(公立)
IRT スコア※1	**503**	506	499
聞く	**63.3**	64.0	62.8
読む	**61.4**	62.2	60.0
書く	42.7	46.1	43.1

国　語	富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率	**55**	55	54.3
言葉の特徴や使い方に関する事項	47.4	48.5	48.1
話すこと・聞くこと	**54.0**	54.3	53.2
書くこと	**53.0**	53.7	52.8
読むこと	**63.7**	63.6	62.3

数　学	富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率	**51**	50	48.3
数と式	**45.8**	45.0	43.5
図形	**51.2**	48.7	46.5
関数	**49.7**	48.8	48.2
データの活用	**59.4**	60.2	58.6

【国語】
○全国の平均正答率より高く、県よりは下回っている。
○「情報の扱い方」「読むこと」の領域の平均正答率が、全国と県を上回っている。
●「話すこと・聞くこと」の平均正答率が県を下回り、全国とは同等である。
【数学】
○全ての項目の平均正答率が、全国よりも高い。
●全ての項目の平均正答率が、県よりも低い。
【英語】
○ＩＲＴスコアが全国より高い。
○「聞く」「読む」の領域のスコアが全国より高い。
●「書く」領域のスコアが全国、県より最も下回っている。

【考察】
◎国語、数学、英語ともに、全国値を超え、定着が図られていることが伺える。知識・技能を土台に、表現する機会を多く経験させることで学習の有用性を感じさせていきたい。
◎英語「書くこと」については、単に書く量を増やすのではなく、モデル文を活用し、日常的に書いたものを伝え、振り返り、推敲する手立てを取り入れたい。

②平均正答率の経年変化（令和５～８年度）

令和8年度　全国学力・学習状況調査結果

令和8年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	60.9	63	60	−0.9
算数	56.4	57	56	−0.4

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	64	66	65	1
数学	57.0	59	58	1.0
英語	499	506	503	4

R8英語＝平均IRTスコア

令和7年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	66.8	68	66	−0.8
算数	58.0	58	56	−2.0
理科	57.1	58	56	−1.1

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	54	55	55	1
数学	48.3	50	51	2.7
理科	503	502	497	−6

R7理科＝平均IRTスコア

令和6年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	67.7	69	65	−2.7
算数	63.4	64	61	−2.4

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	58.1	59	59	0.9
数学	52.5	53	53	0.5

令和5年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	67.2	68	65	−2.2
算数	62.5	62	60	−2.5

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	69.8	71	71	1.2
数学	51.0	52	55	4.0
英語	45.6	46	47	1.4

平均正答率（%）　…全国平均を上回っているもの

【小学校】
○年々、全国平均正答率との差が縮まってきている。
●県平均正答率との差が開いている。
【中学校】
○令和５年度以降全国平均正答率を超えてきている。
●理科において、全国平均正答率に届いていない状況があったが、令和８年度実施の英語は全国平均正答率を上回った。

【考察】
◎経年変化から、小・中学校ともに、全国平均正答率を近づき、上回ってきていることから、学力の定着に一定の成果が見られる。

③無回答率　経年変化

令和8年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	3.4	3.4	**5.1**	1.7
算数	3.2	3.0	**4.3**	1.1

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	4.9	3.9	**4.5**	-0.4
数学	10.4	9.1	**9.8**	-0.6

令和7年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	3.3	3.4	**4.7**	1.4
算数	3.6	3.2	**4.2**	0.6

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	6.7	6.1	**5.9**	-0.8
数学	10.6	9.9	**8.8**	-1.8

令和6年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	4.2	4.0	**6.5**	2.3
算数	3.4	3.0	**4.7**	1.3

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	3.9	3.4	**3.2**	-0.8
数学	11.3	10.7	**11.1**	-0.2

令和5年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	4.8	4.4	**7.6**	2.8
算数	3.4	3.1	**5.4**	2.0

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	4.6	4.1	**3.5**	-1.1
数学	9.6	8.9	**7.9**	-1.7

平均無回答率(%)　　全国平均を上回っているもの

【小学校】
○国語より算数の無回答率が低い傾向にある。
●ほぼ全体の項目で全国・県の平均無回答率より高い。
【中学校】
○ほぼ全体の項目で全国・県の平均無回答率より低い。
●令和８年度は国語、数学共に県無回答率を上回った。

【考察】
◎無回答率については、中学校の結果から学力との相関が見られている。指導にあたっては、粘り強く課題解決させるとともに、問題文の意図を正確に捉える力が求められる。

④質問紙の傾向（小学校）

１「当てはまる」２「どちらかといえば、当てはまる」
３「どちらかといえば、当てはまらない」４「当てはまらない」

令和８年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計　［児童質問］
富士見市教育委員会ー児童

1段目：教育委員会の児童数の割合(%)　　2段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	選択肢			
		1	2	3	4
（１）	朝食を毎日食べていますか	84.4	8.7	4.5	2.3
		83.1	10.2	4.9	1.6
（２）	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	38.0	43.4	14.4	4.0
		40.5	42.3	14.3	2.5
（３）	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	51.5	37.5	8.4	2.0
		55.9	34.8	7.5	1.3
（６）	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	33.4	38.1	12.0	3.6
		40.6	34.4	11.7	2.8
（９）	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	57.7	35.6	4.5	1.8
		53.4	38.0	6.1	2.1
（１２）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	77.6	17.5	2.5	0.8
		81.1	15.1	2.1	0.8
（１３）	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	29.2	36.9	22.4	11.2
		33.9	36.7	20.0	9.0
（１４）	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	70.1	24.4	3.4	1.8
		70.8	25.0	2.9	1.0
（３９）	５年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	28.7	48.9	17.1	3.2
		28.3	49.3	17.4	2.8
（４７）	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	37.7	44.3	15.0	2.7
		35.5	44.4	15.9	3.4
（４９）	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	41.4	41.4	10.9	4.2
		35.2	46.3	13.7	3.5
（６１）	算数の勉強は好きですか	28.7	21.6	24.2	25.1
		33.9	23.7	21.6	20.4
（６３）	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	63.5	24.9	7.0	4.1
		66.5	24.5	5.3	3.0
（７１）	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	18.4	21.8	30.8	27.9
		21.1	24.3	30.8	22.6

※選択肢の１・２を合わせた値を比較（本市○%、全国○%）
○【全国値より本市の数値が高いもしくは近似値のもの】
●【全国値より本市の数値が低く差が大きいもの】
（　）内は、質問番号

○規則正しい生活習慣が築けている児童が多い。
→（１）「朝食を毎日食べていますか」　（本市 93.1%、全国 93.3%）
→（２）「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」　（本市 81.4%、全国 82.7%）
→（３）「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」（本市 89.0%、全国 90.7%）

○「いじめはいけない」「役に立つ人になりたい」と感じている児童が多い。
→（１２）「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」
（本市 95.1%、全国 96.2%）
→（１４）「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」（本市 94.5%、全国 95.8%）

④質問紙の傾向（小学校）

○勉強の大切さを理解している児童が多い。
→（３９）「５年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」（本市 77.6%、全国 77.6%）
→（６３）「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」（本市 88.4%、全国 91.0%）

○課題解決への筋道を立てて、友達と協力しながら授業や学校生活を過ごす児童が多い。
→（４９）「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして、解決方法を決めていますか」（本市 82.8%、全国 81.5%）
→（４７）「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」（本市 82.0%、全国 79.9%）

●先生がよいところを認めてくれると感じているが、大人に相談できない様子がある。
→（１３）「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」（本市 66.1%、全国 70.6%）
（参考）（９）「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」（本市 93.3%、全国 91.4%）

●算数の学習は役に立つと考えているが、算数が好きでない部分がある。
→（６１）「算数の勉強は好きですか」（本市 50.3%、全国 57.6%）
（参考）（６３）「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」（本市 88.4%、全国 91.0%）

●将来の英語活動に携わる意識が乏しい。
→（７１）「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか」（本市 40.2%、全国 45.4%）

④質問紙の傾向（中学校）

令和８年度全国学力・学習状況調査
回答結果集計　［生徒質問］
富士見市教育委員会ー生徒

1段目：教育委員会の児童数の割合(%)　　2段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	選択肢			
		1	2	3	4
（1）	朝食を毎日食べていますか	76.0	13.5	7.4	2.8
		78.4	12.5	6.1	2.8
（2）	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	30.7	50.2	16.3	2.6
		34.9	45.6	16.4	2.9
（3）	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	52.5	39.5	6.8	0.8
		55.4	37.0	6.3	0.9
（6）	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	30.2	43.4	16.6	1.8
		29.3	42.9	17.2	2.3
（8）	自分には、よいところがあると思いますか	38.5	41.2	14.2	5.9
		41.0	43.0	11.3	4.5
（10）	将来の夢や目標を持っていますか	34.4	31.2	20.0	14.2
		37.4	30.2	20.5	11.5
（27）	昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか	1.4	3.0	6.7	11.4
		1.8	6.0	10.4	11.6
（39）	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	25.4	52.5	18.6	2.6
		27.0	51.8	17.4	2.9
（40）	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	20.8	47.6	26.1	3.7
		23.1	47.7	21.6	4.4
（41）	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	22.5	55.7	16.7	3.9
		25.3	53.6	14.7	3.2
（47）	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	25.4	49.7	19.8	4.7
		32.4	48.4	14.9	3.7
（53）	国語の勉強は好きですか	21.3	35.3	28.0	15.3
		22.3	34.9	28.9	13.5
（55）	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	46.1	40.1	9.5	4.1
		50.5	37.7	7.7	3.4

※選択肢の１・２を合わせた値を比較（本市○%、全国○%）
○【全国値より本市の数値が高いもしくは近似値のもの】
●【全国値より本市の数値が低く差が大きいもの】

○規則正しい生活習慣が築けている児童が多い。
→（１）「朝食を毎日食べていますか」　（本市 93.4%、全国 93.7%）
→（２）「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」　（本市 85.1%、全国 81.9%）
→（３）「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」（本市 90.9%、全国 91.0%）

○「困っている人を助けたい」と感じている児童が多い。
→（８）「人が困っているときは進んで助けていますか」（本市 91.9%、全国 93.7%）

④質問紙の傾向（中学校）

○勉強の大切さを理解している児童が多い。
→（４７）「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」（本市 87.6%、全国 90.4%）
→（５５）「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」（本市 91.7%、全国 91.6%）

○課題解決への筋道を立てて、友達と協力しながら授業や学校生活を過ごす児童が多い。
→（３９）「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」（本市 91.0%、全国 91.9%）
→（４０）「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」（本市 82.5%、全国 82.3%）
→（４１）「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」（本市 86.2%、全国 83.3%）

●先生からの関わりが信頼を高めている様子が伺えるが、困りごとがある時に相談できない状況がある。
→（６）「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」（本市 93.7%、全国 92.2%）
→（１０）「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」（本市 64.6%、全国 70.6%）

●算数の学習は役に立つと考えているが、算数が好きでない部分がある。
→（５５）「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」（本市 91.7%、全国 91.6%）
→（５３）「算数の勉強は好きですか」（本市 52.7%、全国 57.9%）

●地域や社会への関心が薄いところがある。
→（２７）「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」（本市 77.1%、全国 81.3%）

⑤各種指標となっている質問紙調査項目（令和５～８年度）

【小学校】

令和8年度　全国学力・学習状況調査（小学校　児童質問紙より抜粋）

※下線は、全国値との差を表します。

※青色セルは全国値より高いことを表します。

※黄色セルは全国値より10%以上低いことを表します。

（単位：%）

質問番号	質問項目	R8		R7		R6		R5	
8	自分には、よいところがあると思いますか。【当てはまる】	39.7	-3.9	47.2	-0.1	40.5	-2.9	38.8	-3.8
10	将来の夢や目標を持っていますか。【当てはまる】	56.2	-2.4	58.4	-2.3	59.9	-0.7	61.2	0.4
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【当てはまる】	77.6	-3.5	76.0	-5.4	73.7	-5.8	77.7	-4.9
9	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【当てはまる】	57.7	3.3	61.9	6.3	53.0	4.2	52.8	2.9
35	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。【ほぼ毎日】	45.9	-4.4	19.0	-5.5	15.7	-9.6	18.7	-9.5
32	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。【当てはまる】	28.7	0.4	27.9	-1.1	29.6	0.1	31.9	1.4
60	算数の勉強は好きですか。【当てはまる】	28.7	-5.2	29.9	-3.8	30.8	-3.2	28.9	-5.9
64	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか。【当てはまる】	43.9	-3.6	48.6	-0.4	73.2	-1.1	73.5	-1.8
62	算数の授業の内容はよく分かりますか。【当てはまる】	37.2	-4.7	37.3	-4.4	39.4	-5.3	37.6	-7.6
63	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。【当てはまる】	63.5	-3.0	67.6	1.5	73.0	1.3	71.2	-1.8
算1	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。【全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した】	77.0	-0.7	74.7	0.2	72.2	-6.5	75.3	-5.0

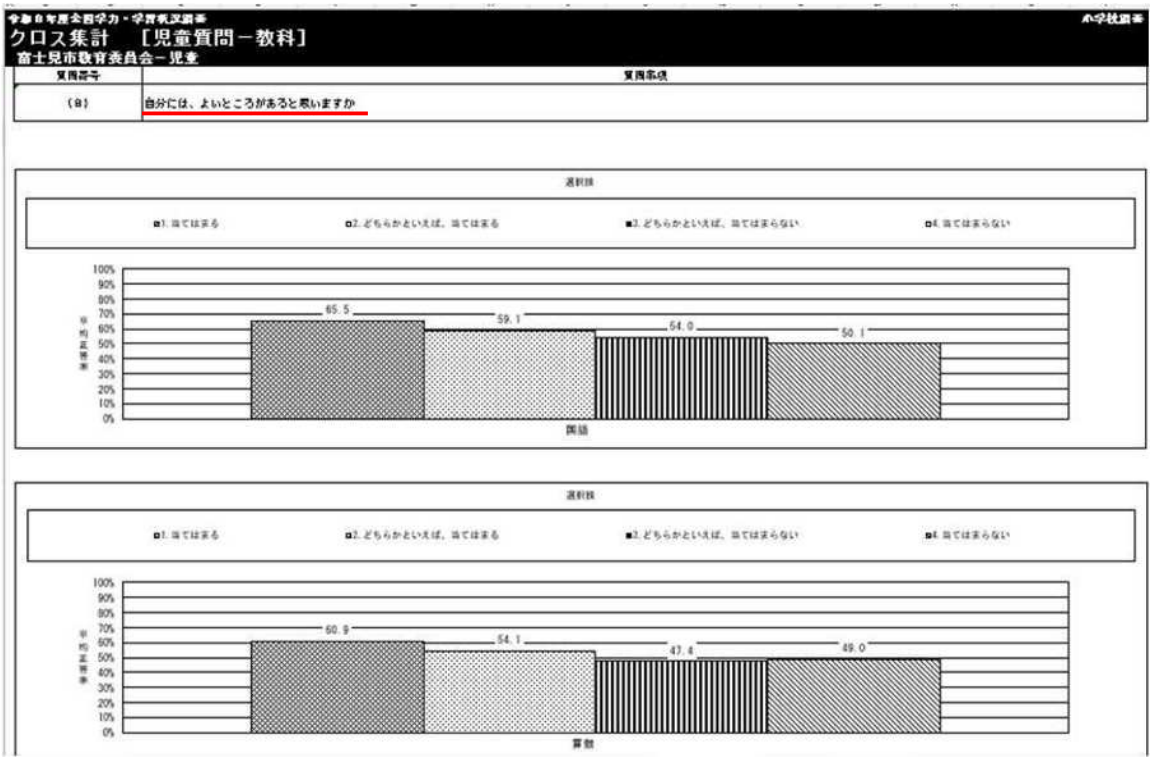
【中学校】　　※（当てはまる）のみの

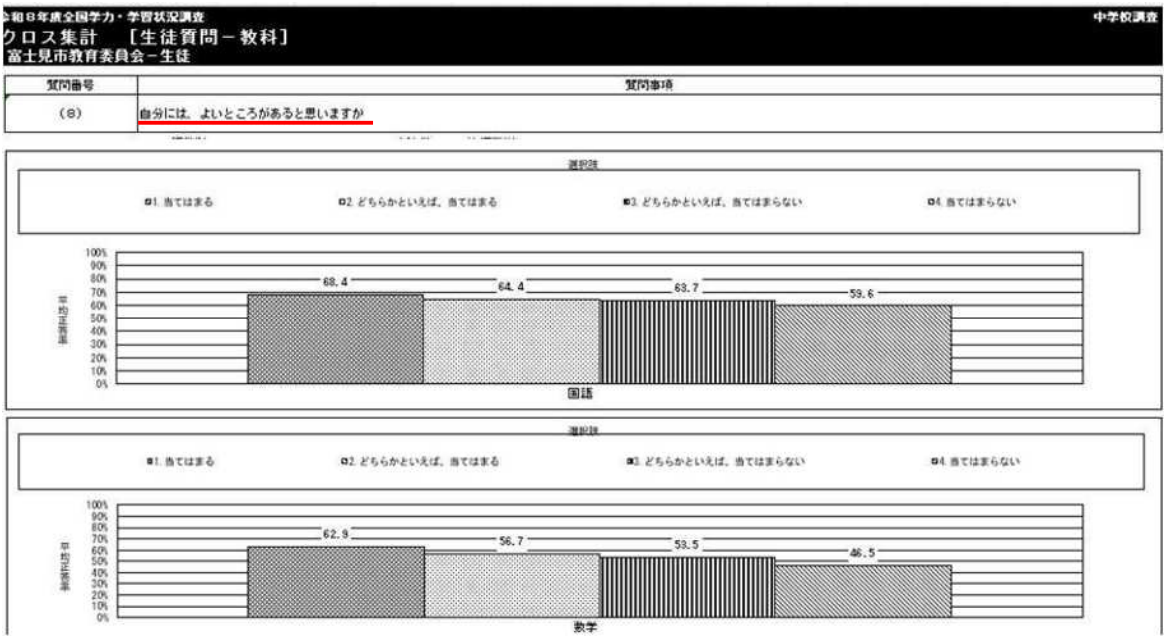
質問番号	質問項目	R8		R7		R6		R5	
8	自分には、よいところがあると思いますか。【当てはまる】	38.5	-2.5	40.9	0.2	38.3	-2.1	36.2	-1.0
10	将来の夢や目標を持っていますか。【当てはまる】	34.4	-3.0	34.8	-0.7	34.8	-1.3	38.2	-1.2
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【当てはまる】	71.1	-5.2	70.5	-6.6	72.0	-5.5	76.1	-4.2
9	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【当てはまる】	52.5	5.8	48.9	2.3	53.0	8.8	41.7	1.7
35	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。【ほぼ毎日】	5.0	-24.3	4.9	-24.6	19.0	-12.0	11.6	-16.5
39	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。【当てはまる】	25.4	-1.6	25.9	2.5	31.7	4.5	27.2	-3.2
60	数学の勉強は好きですか。【当てはまる】	28.1	-1.7	29.7	3.2	29.8	0.4	32.1	3.0
64	数学のの授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか。【当てはまる】	22.7	-2.8	23.5	1.8	50.2	-2.6	49.2	-0.6
62	数学の授業の内容はよく分かりますか。【当てはまる】	30.2	-4.4	31.3	1.2	32.5	-2.6	33.8	-0.1
55	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。【当てはまる】	39.7	0.0	33.7	-1.2	38.6	-1.4	35.6	-3.2
数1	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように回答しましたか。【全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した】	54.3	-3.3	56.5	1.6	51.1	1.1	60.3	3.2

５●自己肯定感の高まりに課題が見られる。
９○よさを認める先生のかかわりが、児童生徒の支えとなっている。
35●タブレット端末の利用が、非常に低く、活用方法の検討が必須である。
39○小学校では、主体的な学びを展開できている様子が伺える。
62●算数・数学の授業での理解度が、低く、実態に合わせた指導が求められる。

⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

（１）自己肯定感の高い児童生徒は、平均正答率が高い。

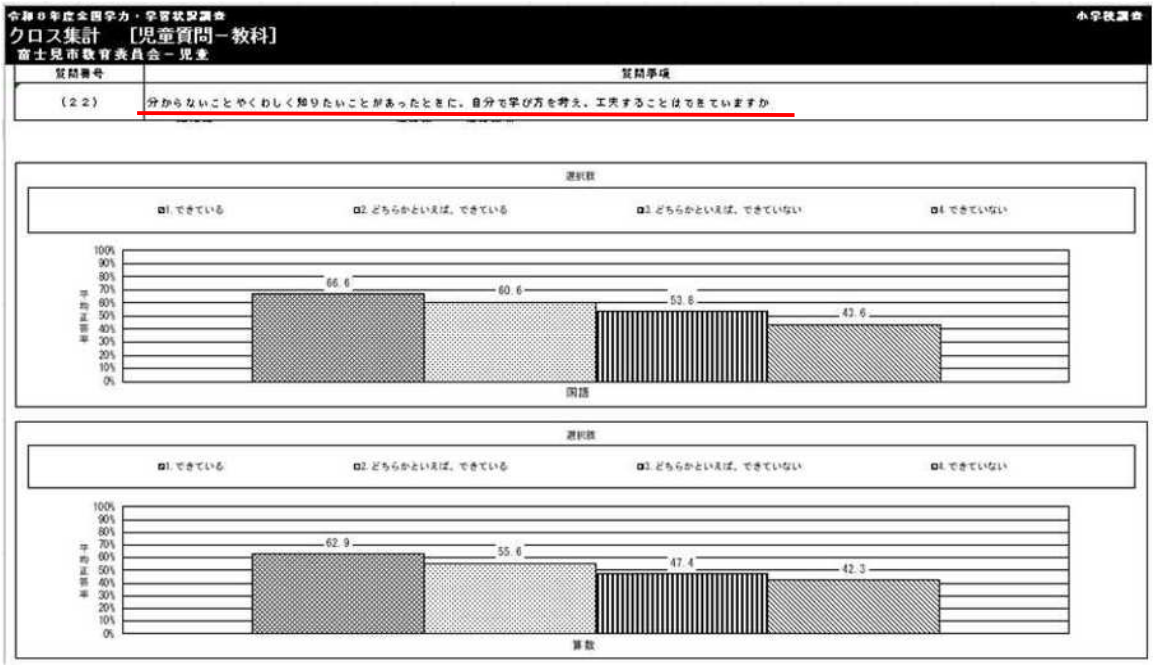


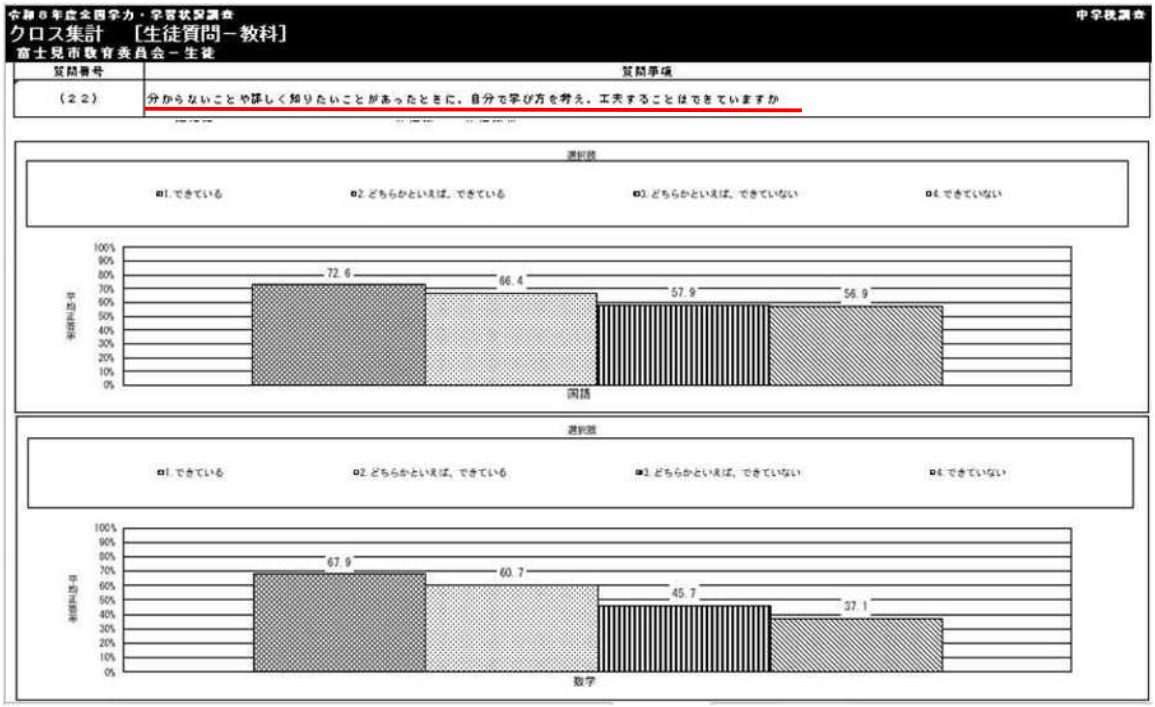


【考察】
◎（１）自己肯定感の高い児童生徒は、興味・関心や挑戦心や好奇心に関する質問に肯定的に回答しており、学習に対する主体性を発揮していると考えられる。

⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

（２）課題に対して、自分で考え、学び方を自分で工夫している児童生徒は、平均正答率が高い。





⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

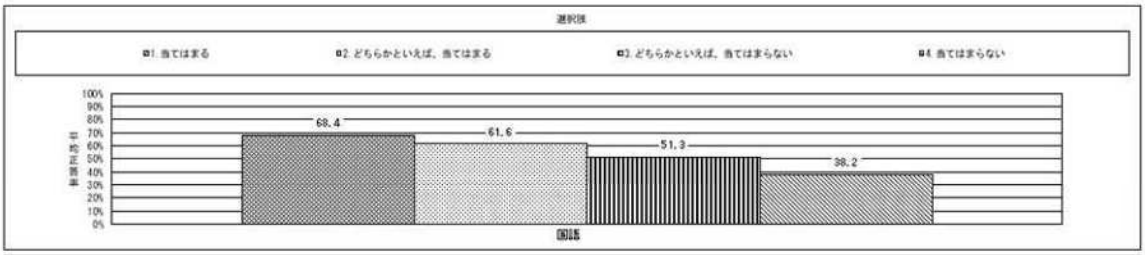
（３）課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童生徒は、平均正答率が高い。

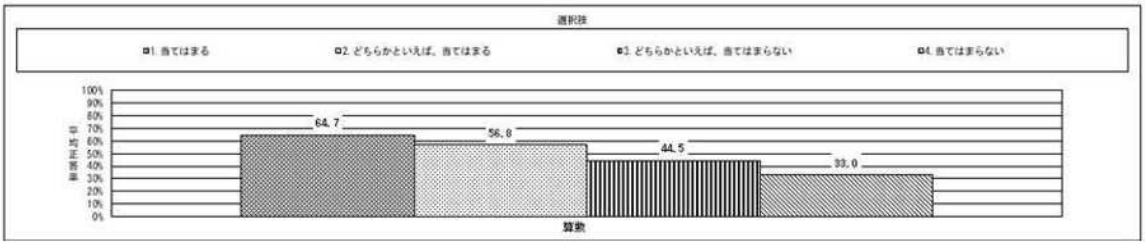
令和８年度全国学力・学習状況調査　小学校調査

クロス集計　［児童質問－教科］

富士見市教育委員会－児童

質問番号	質問事項
（３９）	５年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



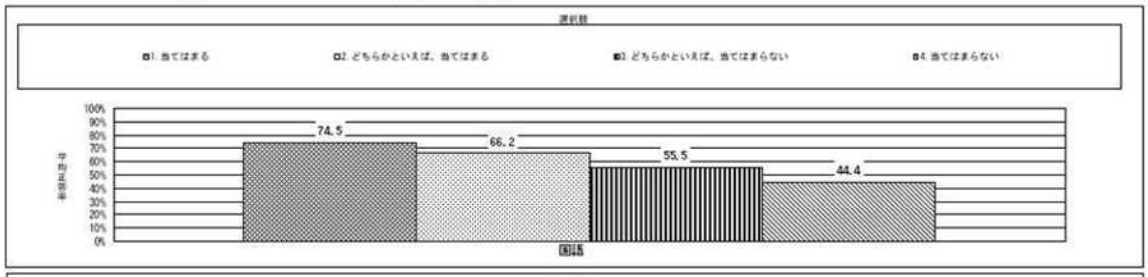


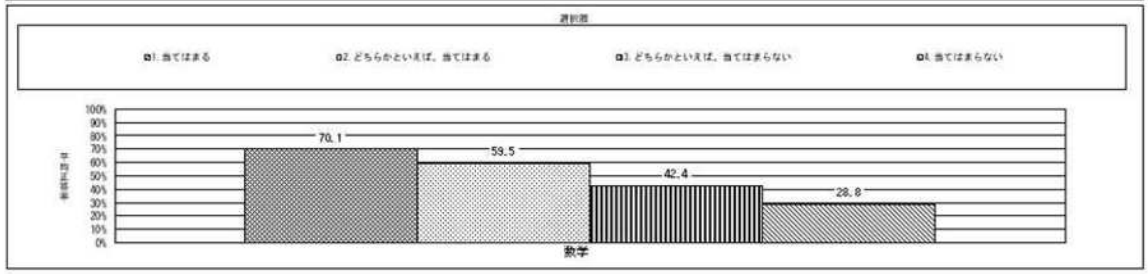
令和８年度全国学力・学習状況調査　中学校調査

クロス集計　［生徒質問－教科］

富士見市教育委員会－生徒

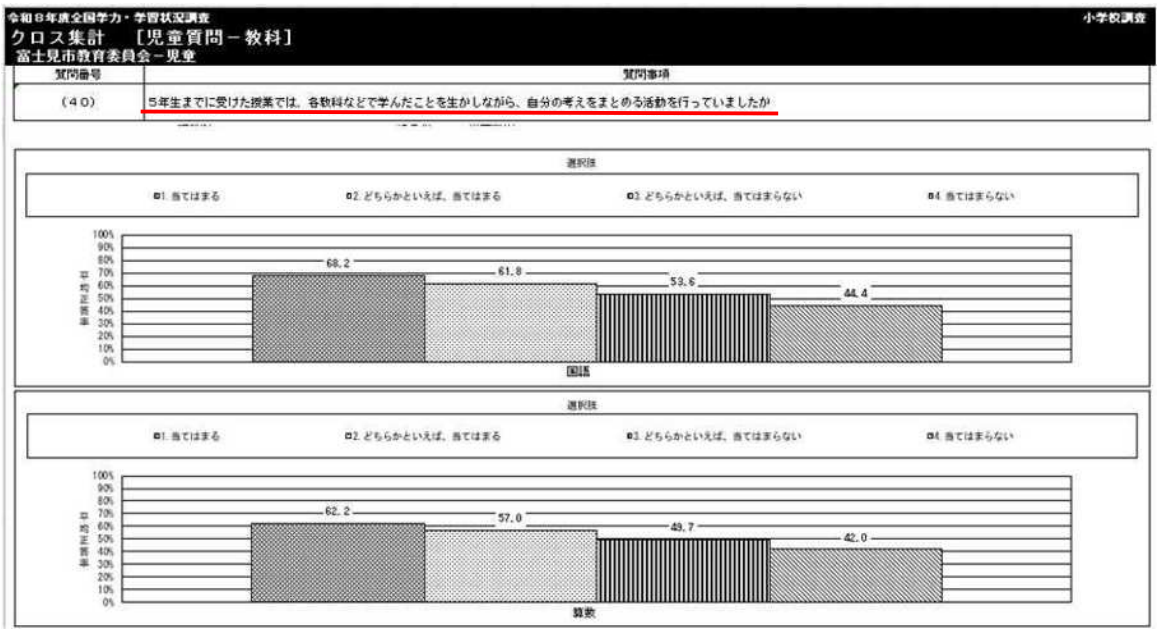
質問番号	質問事項
（３９）	１、２年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

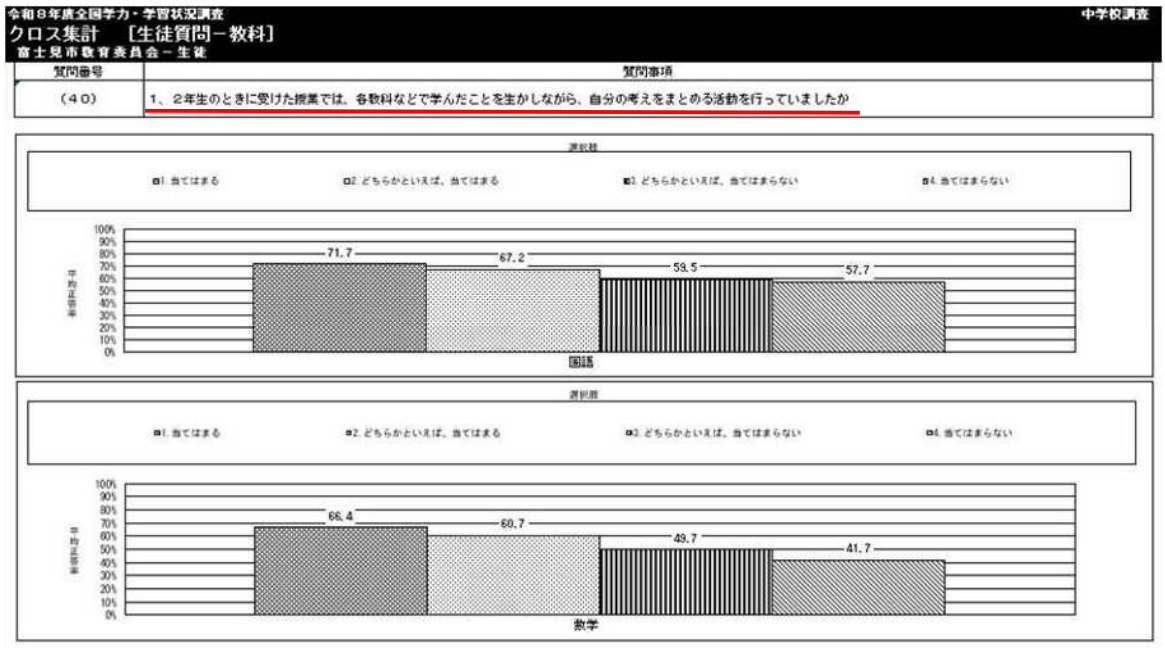




⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

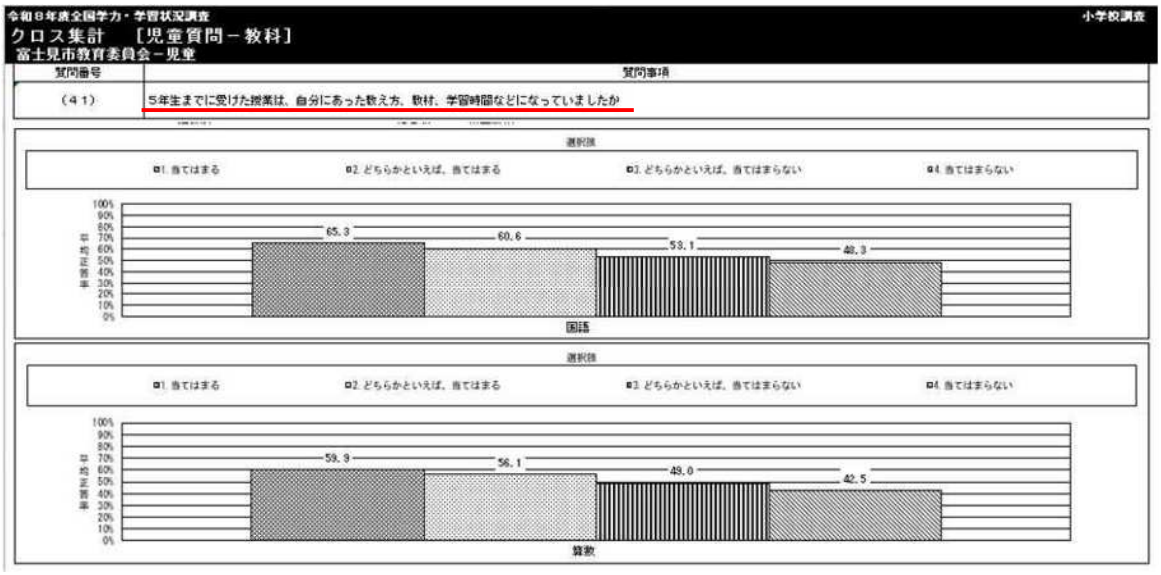
（４）自分の考えをまとめる活動をよく行っている児童生徒は、平均正答率が高い。

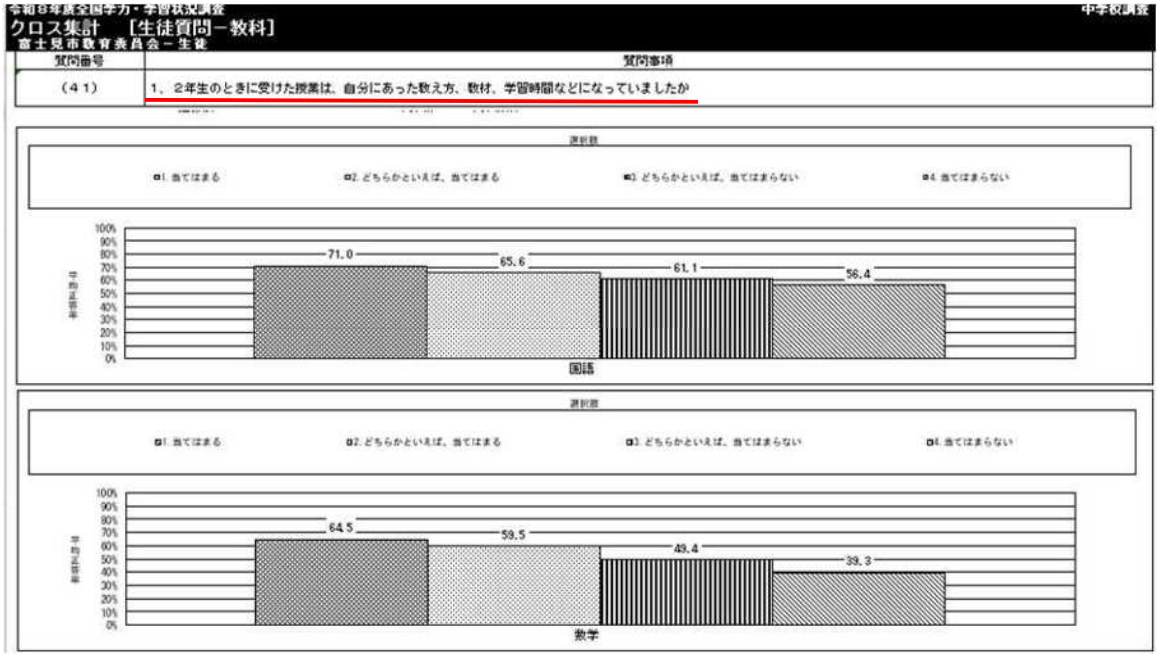




⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

（５）自分に合った教え方、教材、学習時間になっている児童生徒は、平均正答率が高い。





【考察】
◎（２）～（５）のクロス集計結果より、主体的・対話的で深い学びを実践することが、学力向上に欠かせないことが明らかである。多様性の包摂を実現するためにも、個別最適な学びを推進し、児童生徒中心に授業展開を図る必要がある。

埼玉県学力・学習状況調査の結果について

調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する

調査概要

○実施日　令和８年５月８日(金)、５月１３日(水)、５月１４日（木）

○調査対象　①児童生徒：小学校４、５、６年生、中学校１、２、３年生
②学校：小学校等（約６７２校)、中学校等（約３４７校）

○調査事項　①児童生徒：教科調査〔国語、算数･数学、英語（中２、中３)〕
：質問調査
②学校　：質問調査

○調査問題
・学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前学年までの内容
・学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

○その他
・小学校４年から中学校３年まで個人番号で管理し、児童生徒の学力の伸びの経年変化を確認できるため、全国学力・学習状況調査にはない「一人ひとりの学力がどれだけ伸びているのか」という視点で分析が可能である。
・令和６年度より全面ＣＢＴによる実施となった。

① 平均正答率（小学校）

【国語】

小学校4年生	平均正答率（%）	
	市	県
言葉の特徴・使い方	59.4	60.7
情報の扱い・言語文化	48.2	50.7
話・聞・書	44.1	47.3
読む	35.0	38.6
全体	49.3	51.6
知識・技能	56.2	57.9
思考・判断・表現	38.8	42.2

小学校5年生	平均正答率（%）	
	市	県
言葉の特徴・使い方	67.9	68.6
情報の扱い・言語文化	63.3	63.0
話・聞・書	54.3	52.4
読む	45.0	46.1
全体	59.7	59.9
知識・技能	66.9	67.3
思考・判断・表現	48.9	48.8

小学校6年生	平均正答率（%）	
	市	県
言葉の特徴・使い方	68.2	69.9
情報の扱い・言語文化	46.9	47.0
話・聞・書	65.1	65.6
読む	48.4	50.0
全体	60.9	62.2
知識・技能	64.6	66.1
思考・判断・表現	55.3	56.5

【算数・数学】

小学校4年生	平均正答率（%）	
	市	県
数と計算	59.2	62.2
図形	41.0	41.7
変化と関係	57.8	60.1
データの活用	54.6	57.3
全体	53.9	56.2
知識・技能	56.4	58.8
思考・判断・表現	48.6	50.9

小学校5年生	平均正答率（%）	
	市	県
数と計算	42.6	44.6
図形	52.0	53.2
変化と関係	42.5	43.4
データの活用	46.3	48.1
全体	45.9	47.4
知識・技能	49.5	51.0
思考・判断・表現	42.4	43.9

小学校6年生	平均正答率（%）	
	市	県
数と計算	48.1	48.6
図形	37.8	40.2
変化と関係	47.9	47.7
データの活用	47.2	48.9
全体	45.7	46.7
知識・技能	47.4	48.7
思考・判断・表現	43.1	43.4

県平均より高いまたは同等の値

○向上が見られた点　●課題点

●全体の平均正答率においては、国語・算数ともに小学校全学年で県平均を下回っている。
○国語においては、小５で「情報の扱い・言語文化」「話す・聞く・書く」の領域が県平均を上回っている。
●国語においては、小４で「話す・聞く・書く」「読む」の領域に課題がみられる。
○算数においては、小６で「変化と関係」の領域が県を上回っている
●算数においては、小４「変化と関係」「データの活用」の領域に課題がみられる。

【考察】
◎中１～３で学力が県と同等以上になっていることから、小学校高学年から基礎学力の定着が図られてきたと考える。
◎小・中学校ともに国語の「言葉の特徴・使い方」に課題が見られるが、基礎的なドリル学習での習得を目指すのではなく、「読むこと」に関連付ける等の主体的な学習展開の中で定着を図りたい。

① 平均正答率（中学校）

中学校１年生	平均正答率（%）	
	市	県
言葉の特徴・使い方	69.7	72.1
情報の扱い・言語文化	64.9	64.6
話・聞・書	60.4	59.6
読む	57.3	56.8
全体	63.9	64.5
知識・技能	68.5	70.2
思考・判断・表現	58.6	58.0

中学校２年生	平均正答率（%）	
	市	県
言葉の特徴・使い方	68.5	68.7
情報の扱い・言語文化	57.3	56.7
話・聞・書	61.2	61.5
読む	65.0	61.3
全体	64.4	63.5
知識・技能	65.2	65.2
思考・判断・表現	63.2	61.4

中学校３年生	平均正答率（%）	
	市	県
言葉の特徴・使い方	60.1	60.7
情報の扱い・言語文化	51.6	52.5
話・聞・書	55.1	55.9
読む	56.2	55.8
全体	56.3	56.8
知識・技能	56.9	57.6
思考・判断・表現	55.7	55.9

中学校１年生	平均正答率（%）	
	市	県
数と計算	44.6	44.7
図形	47.4	47.4
変化と関係	47.5	47.1
データの活用	49.5	49.6
全体	47.0	47.0
知識・技能	50.3	50.5
思考・判断・表現	41.3	40.8

中学校２年生	平均正答率（%）	
	市	県
数と計算	55.2	53.3
図形	52.6	50.2
変化と関係	52.0	51.1
データの活用	54.5	54.8
全体	53.8	52.4
知識・技能	58.1	56.4
思考・判断・表現	47.9	47.0

中学校３年生	平均正答率（%）	
	市	県
数と計算	59.6	58.1
図形	54.3	56.1
変化と関係	38.7	39.9
データの活用	48.3	49.8
全体	51.1	51.7
知識・技能	59.4	59.8
思考・判断・表現	41.2	42.0

【英語】

中学校２年生	平均正答率（%）	
	市	県
聞くこと	70.3	69.2
読むこと	46.7	46.9
話すこと	29.8	30.3
書くこと	23.7	22.9
全体	46.5	46.1
知識・技能	52.5	51.4
思考・判断・表現	38.9	39.3

中学校３年生	平均正答率（%）	
	市	県
聞くこと	51.7	51.7
読むこと	56.6	56.6
話すこと	29.6	32.2
書くこと	27.7	30.9
全体	46.3	47.3
知識・技能	47.2	48.4
思考・判断・表現	44.7	45.1

○全体の平均正答率においては、中２で国語・数学・英語の教科が県平均とくらべて上回っている。
○国語においては、中１～中３で、「読む」の領域が県平均を上回っている。
●国語においては、中１で「言葉の特徴・使い方」の領域に課題がみられる。
○数学においては、中２、中３で「数と計算」の領域が県平均を２ポイントほど上回っている。
●数学においては、中３で「図形」の領域に課題がみられる。
○英語においては、中２、中３で「聞くこと」の領域が県平均以上の数値である。
●英語においては、中３で「話すこと」「書くこと」の領域に課題がみられる。

②解答時間

【小学校】

【国語】　　県の時間以上

小学校4年生	経過時間（秒） 市	県
言葉の特徴・使い方	628	615
情報の扱い・言語文化	285	279
話・聞・書	407	421
読む	708	748
解答時間合計	2029	2062
見直し時間	149	170

小学校5年生	経過時間（秒） 市	県
言葉の特徴・使い方	567	546
情報の扱い・言語文化	163	167
話・聞・書	530	530
読む	748	763
解答時間合計	2007	2007
見直し時間	188	202

小学校6年生	経過時間（秒） 市	県
言葉の特徴・使い方	503	491
情報の扱い・言語文化	167	169
話・聞・書	421	423
読む	916	937
解答時間合計	2008	2019
見直し時間	170	185

【算数・数学】

小学校4年生	経過時間（秒） 市	県
数と計算	610	618
図形	577	595
変化と関係	292	294
データの活用	454	473
解答時間合計	1934	1980
見直し時間	173	200

小学校5年生	経過時間（秒） 市	県
数と計算	736	746
図形	492	490
変化と関係	377	393
データの活用	377	388
解答時間合計	1982	2018
見直し時間	176	186

小学校6年生	経過時間（秒） 市	県
数と計算	868	874
図形	332	320
変化と関係	460	449
データの活用	353	379
解答時間合計	2013	2022
見直し時間	153	184

【中学校】

中学校1年生	経過時間（秒） 市	県
言葉の特徴・使い方	400	379
情報の扱い・言語文化	324	313
話・聞・書	631	645
読む	888	851
解答時間合計	2244	2188
見直し時間	284	298

中学校2年生	経過時間（秒） 市	県
言葉の特徴・使い方	423	421
情報の扱い・言語文化	206	204
話・聞・書	430	423
読む	984	996
解答時間合計	2043	2044
見直し時間	389	350

中学校3年生	経過時間（秒） 市	県
言葉の特徴・使い方	330	321
情報の扱い・言語文化	393	379
話・聞・書	801	817
読む	676	656
解答時間合計	2201	2173
見直し時間	204	228

中学校1年生	経過時間（秒） 市	県
数と計算	881	885
図形	460	455
変化と関係	547	534
データの活用	509	504
解答時間合計	2396	2378
見直し時間	184	179

中学校2年生	経過時間（秒） 市	県
数と計算	836	870
図形	497	494
変化と関係	527	521
データの活用	425	405
解答時間合計	2285	2290
見直し時間	234	204

中学校3年生	経過時間（秒） 市	県
数と計算	767	751
図形	662	689
変化と関係	405	398
データの活用	483	470
解答時間合計	2317	2308
見直し時間	131	148

※「解答時間」・・・
初めて解答を入力するまでに問題を表示した時間（秒）
※「見直し時間」・・・
解答を入力した後、再度、その問題のページに戻り、見直し等を行った時間（秒）

【英語】

中学校２年生	経過時間（秒） 市	県
聞くこと	766	774
読むこと	741	725
話すこと	247	248
書くこと	582	550
解答時間合計	2336	2297
見直し時間	234	239

中学校３年生	経過時間（秒） 市	県
聞くこと	815	803
読むこと	705	695
話すこと	215	209
書くこと	546	544
解答時間合計	2281	2251
見直し時間	162	194

・小学校で、解答時間が短く、見直し時間も短い。
・中学校で、解答時間は県とほぼ同等で、見直し時間も小学校より長い。

【考察】
◎平均正答率が低い問題（国語「言葉の特徴・使い方」において、時間がかかっているが、粘り強く取り組んでいる姿勢でもある。
◎見直し時間と平均正答率に相関がみられることから、授業において、見直しや振り返り時間を大事にしたい。

③学力のレベルと伸び（令和３～８年度）

令和8年度埼玉県学力・学習状況調査結果（経年変化）

		国語							算数・数学							英語		
		学力レベル						同集団の1年間の伸び	学力レベル						同集団の1年間の伸び			同集団の1年間の伸び
県の数値より / 県の数値と同じ数値		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		令和3年度	令和4年度	平成5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		令和7年度	令和8年度	
小4	埼玉県						5-B							5-C				
	富士見市						5-C							4-A				
小5	埼玉県					5-B	6-B	3					4-A	5-B	2			
	富士見市					5-C	6-B	4					4-A	5-B	2			
小6	埼玉県				5-B	6-B	7-C	2				4-A	5-B	6-C	2			
	富士見市				5-C	6-B	7-C	2				4-A	5-B	5-A	1			
中1	埼玉県			6-C	6-B	7-C	8-B	4			5-C	5-B	6-C	6-A	2			
	富士見市			6-C	6-B	7-C	8-C	3			5-C	5-B	6-C	6-A	2			
中2	埼玉県		6-C	7-C	7-C	8-C	8-B	1		5-B	6-C	6-B	6-A	7-B	2		9-C	
	富士見市		5-A	7-C	6-A	7-A	8-A	3		5-B	6-C	6-C	6-B	7-A	4		9-C	
中3	埼玉県	6-A	6-A	7-B	7-A	8-C	8-A	2	5-A	6-C	6-B	6-B	7-A	7-A	0	9-C	9-A	2
	富士見市	6-B	6-B	7-A	7-B	8-C	8-A	2	5-B	6-C	6-B	6-C	7-A	7-A	0	9-C	9-A	2

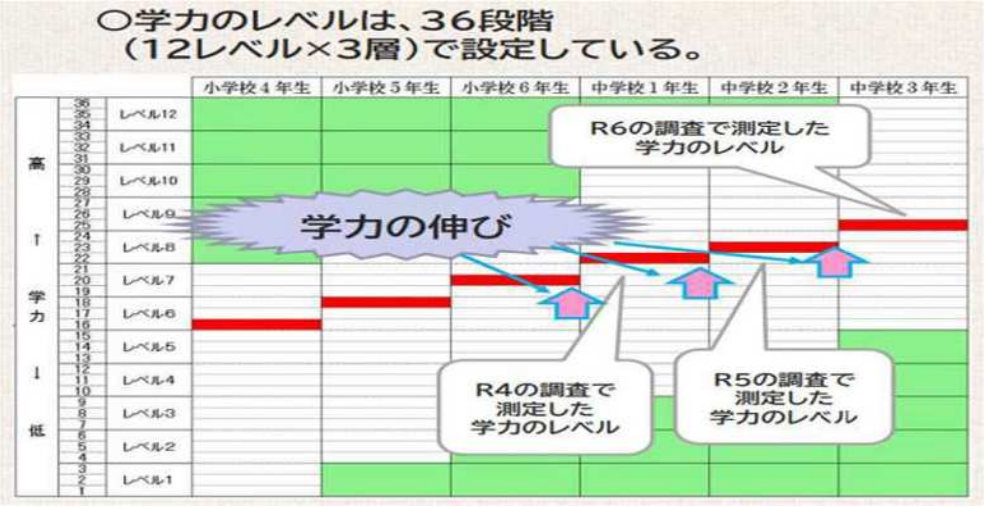
同集団の1年間の伸び	小学校国語		中学校国語		国語 計		小学校算数		中学校数学		算・数 計		中学校英語		小学校 計		中学校 計	
	県	5	県	7	県	12	県	4	県	4	県	8	県	2	県	9	県	13
	市	6	市	8	市	14	市	3	市	6	市	9	市	2	市	9	市	16

※本表の見方例【中3国語の経年学力レベル＝R3小4 6-B　R6中1 7-B　…　R8中3 8-A】

○小５において、国語が、中２において、国語・数学が、県の伸びを上回っている。

●小６において数学が、中１において国語が、県の伸びを下回っている。

○中学校において、伸びの合計の値が、県を上回っている。



④学力を伸ばした児童生徒

学力を伸ばした児童生徒の割合（%）　　県数値以上

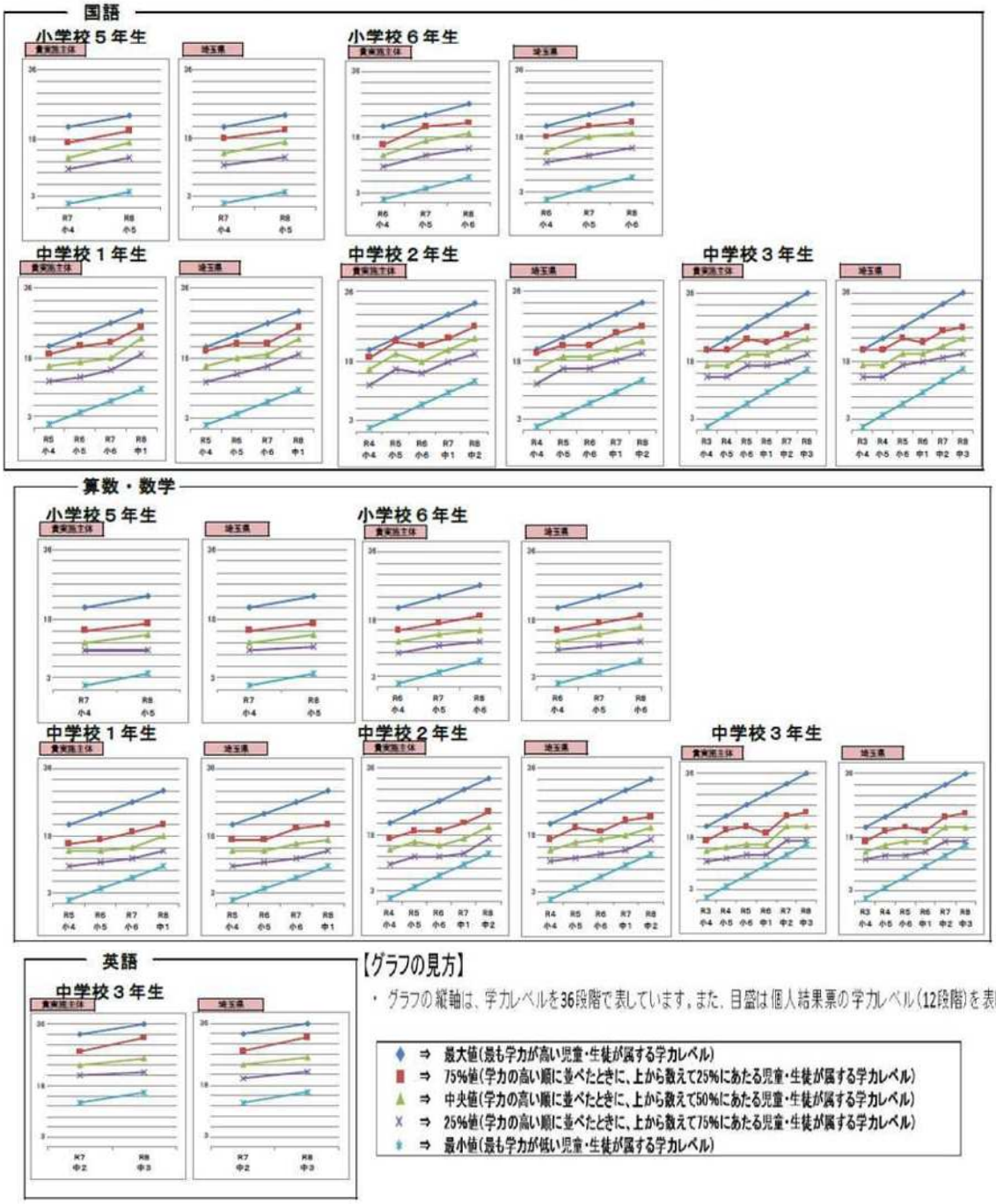
		国語	算数・数学	英語	国語	算数・数学	英語	国語	算数・数学	英語	国語	算数・数学	英語
		令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度	令和8年度
小4	埼玉県												
	富士見市												
小5	埼玉県	80.2	67.0		67.0	56.1		80.4	69.6		75.7	67.5	
	富士見市	85.8	69.7		65.6	55.4		84.6	71.0		80.1	67.2	
小6	埼玉県	77.7	57.7		46.8	54.8		66.3	68.3		72.4	69.3	
	富士見市	84.0	58.8		35.4	45.7		69.8	64.5		69.3	66.6	
中1	埼玉県	60.5	58.9		54.6	51.1		83.1	66.5		89.9	71.5	
	富士見市	62.8	64.9		48.5	47.8		84.8	69.5		90.1	75.9	
中2	埼玉県	58.8	62.6		52.9	73.1		64.5	84.6		67.4	74.0	
	富士見市	65.2	66.3		54.3	80.0		65.9	90.9		74.7	81.9	
中3	埼玉県	55.6	65.2	68.7	66.7	48.1	73.9	74.5	63.8	81.8	65.8	57.7	76.1
	富士見市	60.2	70.3	73.1	63.1	44.6	72.8	75.4	64.3	79.8	68.1	57.4	71.4

○令和８年度は、学力を伸ばした児童生徒の割合が、小５、中１、中２で、国語・算数ともに県を上回っている。
○中２の国語・数学で、２年連続（令和７年度中１）県の伸ばした割合を上回っている。
●小６で国語・算数ともに、県の伸ばした割合を下回っている。

【考察】
◎学力レベルと伸びを見ると、令和８年度は、国語・算数ともに伸びが見られており、平均正答率は県に届いていないものの、昨年度学力を伸ばせなかった児童生徒が県のレベルに近づいた結果が見て取れる。
◎学力を伸ばした児童生徒の割合を見ると、令和７年度に大きく伸ばした児童生徒は、令和８年度に学力を伸ばしづらい実態も捉えておきたい。

⑤学力の伸び

埼玉県学力・学習状況調査　学力の伸びの状況（帳票２６より抜粋）



【グラフの見方】

・グラフの縦軸は、学力レベルを36段階で表しています。また、目盛は個人結果票の学力レベル(12段階)を表しています。

◆ ⇒ 最大値(最も学力が高い児童・生徒が属する学力レベル)
■ ⇒ 75%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
▲ ⇒ 中央値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
× ⇒ 25%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
● ⇒ 最小値(最も学力が低い児童・生徒が属する学力レベル)

○小学校・中学校ともに、中間層の伸びが県と同様にみられる。

○中１、中２で、令和８年度の伸び幅が大きい。

●小６、中３の上位層、中位層の伸びが小さい。

⑥学習方略・非認知能力

小4年生

県より低い数値

県より高い数値

	R8結果							
	主体的・対話的で深い学び	学習方略					非認知能力	
		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	自制心
市平均	4.1	3.7	3.7	3.5	4.0	3.9	3.7	3.7
県平均	4.1	3.7	3.7	3.5	4.0	3.9	3.8	3.8

小5年生

	R7→R8（変化量）								R8結果							
	主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力		主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力	
		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	向社会性		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	向社会性
市平均	−0.1	−0.1	−0.1	−0.2	−0.1	−0.1	−0.2	−0.1	3.9	3.5	3.6	3.3	3.8	3.8	3.4	3.8
県平均	−0.1	−0.1	−0.1	−0.2	−0.1	−0.1	−0.2	−0.1	4.0	3.6	3.7	3.4	3.9	3.8	3.6	3.9

小6年生

	R7→R8（変化量）								R8結果							
	主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力		主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力	
		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	自制心		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	自制心
市平均	0.0	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	−0.1	4.0	3.6	3.6	3.2	3.9	3.7	3.4	3.9
県平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	−0.1	0.0	−0.1	4.1	3.7	3.7	3.4	4.0	3.8	3.6	4.0

中1年生

	R7→R8（変化量）								R8結果							
	主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力		主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力	
		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	やりぬく力		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	やりぬく力
市平均	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	−0.2	0.0	4.0	3.6	3.6	3.5	3.9	3.8	3.3	3.8
県平均	0.0	0.0	0.0	0.2	−0.1	0.0	−0.2	0.0	4.1	3.7	3.7	3.6	4.0	3.8	3.4	3.9

中2年生

	R7→R8（変化量）								R8結果							
	主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力		主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力	
		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	向社会性		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	向社会性
市平均	−0.2	−0.1	−0.1	0.0	−0.2	−0.3	−0.2	−0.1	3.7	3.5	3.4	3.5	3.7	3.5	3.0	2.9
県平均	−0.1	−0.1	−0.1	−0.1	−0.2	−0.3	−0.2	−0.1	4.0	3.6	3.5	3.5	3.8	3.5	3.2	2.9

中3年生

	R7→R8（変化量）								R8結果							
	主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力		主体的・対話的で深い	学習方略					非認知能力	
		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	勤勉性		柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	勤勉性
市平均	−0.1	0.0	−0.1	0.0	0.0	−0.1	0.0	−0.1	3.7	3.6	3.5	3.5	3.8	3.5	3.1	3.9
県平均	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	−0.1	3.9	3.7	3.5	3.6	3.9	3.5	3.2	3.9

○小学校・中学校ともに、努力調整方略が県と同等である。

○小６、中１で、学習方略の変化量が県を上回っている。

●小学校・中学校ともに、主体的な学びが県を下回っている。中２、中３の主体的な学びが０．２ポイント以上低い。

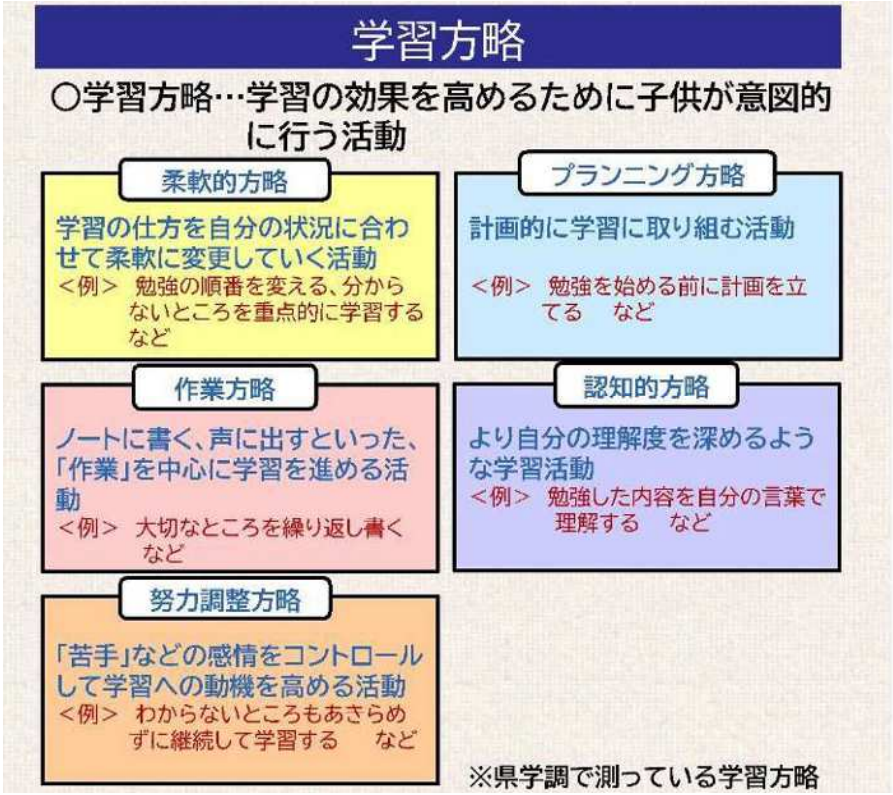
●小５、中３で、学習方略の変化量に課題がみられる。

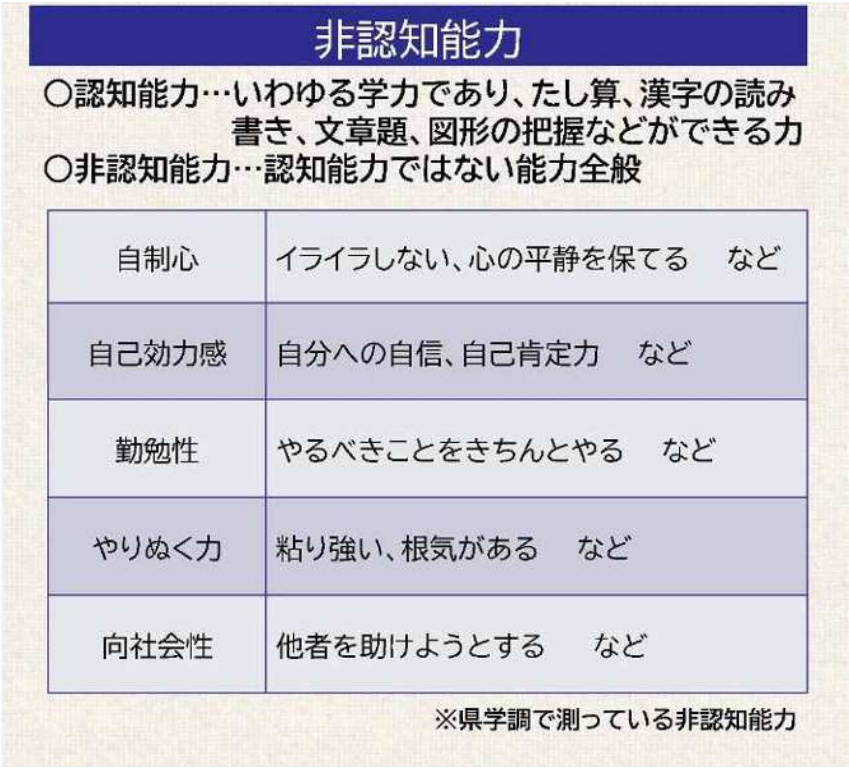
【考察】

◎主体的・対話的で深い学びを通して、学習方略を身に付けることができるとともに、日々の学級での活動の中で非認知能力が向上するとされる。県の学力調査の報告から、学級経営の安定や主体的な学びと学力の相関が大きいと報告されている。今後も、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に努めるとともに、特別活動をはじめとして教育活動全体で取り組んでいく必要がある。

⑥学習方略・非認知能力

【参考資料】





⑦質問紙調査

R８県学調　児童生徒質問紙調査より抜粋

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合（%） ※ ■は県より上		小４	小５	小６	中１	中２	中３
勉強する理由 （勉強することが楽しい、好き）	県	31.7	23.1	19.2	15.8	11.7	11.6
	市	33.6	22.6	17.9	15.7	12.9	8.7
自分には、よいところがあると思いますか （思う、どちらかといえば思う）	県	81.4	76.9	78.6	76.1	78.6	79.9
	市	82.5	77.3	76.4	79.1	72.8	74.2
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している （している、どちらかといえばしている）	県	75.8	79.3	77.9	77.1	69.4	69.8
	市	66.1	73.9	72.4	75.7	69.2	62.7
今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心をもっていますか（もっている、どちらかといえばもっている）	県	68.4	72.7	66.5	61.2	47.7	44.3
	市	59.3	67.5	58.5	54.6	37.6	32.6
将来の夢や目標を持っていますか （もっている、どちらかといえばもっている）	県	89.5	87.6	83.3	81.7	74.3	70.7
	市	90.5	87.8	79.1	80.4	74.1	67.9
学級での生活は楽しかったですか（前学年） （楽しかった、どちらかといえば楽しかった）	県	94.2	92.8	92.5	92.6	93.8	93.1
	市	93.7	91.0	92.3	92.2	91.6	91.7
落ち着いて学習する様子でしたか（前学年） （そうだった、どちらかといえばそうだった）	県	77.5	76.8	73.5	74.2	69.3	78.5
	市	74.7	73.9	70.8	72.6	63.3	75.1
先生は自分のよいところを認めてくれた（前学年） （認めてくれた・どちらかといえば認めてくれた）	県	93.4	94.6	94.9	95.4	96.1	96.2
	市	92.6	93.5	93.2	95.1	94.5	94.7
先生は相談にのってくれた（前学年） （のってくれた・どちらかといえばのってくれた）	県	87.8	90.3	91.6	92.7	93.8	94.0
	市	77.9	85.7	86.9	91.8	91.0	92.9
友達は自分のよいところを認めてくれた（前学年） （認めてくれた・どちらかといえば認めてくれた）	県	86.0	90.4	93.3	94.4	94.9	95.2
	市	77.9	87.4	92.1	92.7	93.2	94.8
先生は授業やテストで分からなかったことなどを、分かるまで教えてくれた（前学年） （教えてくれた・どちらかといえば教えてくれた）	県	93.2	93.3	92.6	93.7	93.6	93.8
	市	90.2	89.8	89.0	91.2	90.5	90.9

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合（%） ※ ■は県より上		小４	小５	小６	中１	中２	中３
授業の内容は、わかりましたか （よくわかった・どちらかといえばよくわかった）	県	90.3	91.7	92.4	91.6	87.0	87.0
	市	83.2	85.0	89.0	91.8	83.0	81.8
授業の終わりに、授業で学んだことを振り返り、自分がわかったことやわからなかったことを理解したこと （よくあった・ときどきあった）	県	64.8	63.4	66.2	70.3	65.4	71.1
	市	61.7	58.7	59.7	67.4	58.3	64.9
グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと （よくあった・ときどきあった）	県	86.1	84.2	89.6	87.4	88.0	82.4
	市	83.4	81.5	87.8	85.6	70.8	65.7
土曜日や日曜日に、１日どのくらい勉強をしますか （1時間以上）	県	49.3	52.4	52.6	63.9	61.4	69.3
	市	50.5	51.8	51.2	66.1	60.4	68.4
塾（家庭教師も含む）で１週間どのくらい勉強をしますか （８時間以上）	県	10.5	11.5	10.7	9.3	13.4	22.1
	市	12.0	12.8	11.5	15.3	18.4	27.5
１か月に何冊くらい本を読みますか（３冊以上）	県	41.1	40.5	40.4	29.0	23.3	17.7
	市	38.4	38.2	35.9	24.8	22.9	14.8
テレビゲームや携帯電話（スマートフォン）を使う時の家族との約束は決めていますか（両方決めている）	県	31.0	32.9	34.7	38.8	35.4	29.5
	市	31.5	33.5	33.4	38.7	33.1	26.6
国語の授業でパソコンやタブレットを使っていますか （週１～２回程度以上）	県	54.5	57.1	66.1	65.9	46.8	42.3
	市	55.7	59.4	63.1	62.5	34.3	16.4
算数・数学の授業でパソコンやタブレットを使っていますか （週１～２回程度以上）	県	36.7	38.6	45.4	50.7	31.1	29.1
	市	37.6	48.9	40.3	41.3	3.9	6.3
家でタブレットやパソコンなどでインターネットをどのくらい利用していますか（３時間以上）	県	22.0	26.4	26.0	28.1	26.9	22.0
	市	20.6	28.1	24.3	26.3	21.2	19.4

⑦質問紙調査

○勉強する理由「勉強することが楽しい、好き」と回答した割合が、小４、中２で県を上回っている。

○「自分には、よいところがありますか」と回答した割合が、小４、小５、中１で県を上回っている。

○「将来の夢や目標をもっていますか」と回答した割合が、小４、小５で県を上回っている。

○「（前学級の）学級での生活は楽しかった」「（前学級の）先生は自分のよいところを認めてくれた」は、９割以上の児童生徒が好意的な回答をしている。

○「（前学級の）友達は自分のよいところを認めてくれた」「（前学級の）先生は授業やテストで分からなかったことなどを、分かるまで教えてくれた」は、８割程度の児童生徒が好意的な回答をしている。

○「授業の内容が、わかりました」と回答した割合が、中１で県を上回っている。

○テレビゲームや携帯電話（スマートフォン）を使う時は、家族と約束を決めて、よく守っていると回答している。

●「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」と回答した割合が、全学年で県を下回っている。

●「今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心をもっている」と回答した割合が、全学年で県を下回っている。

●「授業の終わりに、授業で学んだことを振り返り、自分がわかったことやわからなかったことを理解した」と回答した割合が、全学年で県を下回っている。

●「１か月に３冊以上本を読む」と回答した割合が、全学年で県を下回っている。

【考察】

◎学習意欲と自己肯定感に関わる問いについて、県平均値を上回る学年が出てきており、引き続き、本市の重点として、児童生徒の自尊感情を高めていく指導を継続していく。

◎困難なことへの挑戦が課題である点は、成長のチャンスと捉え、失敗を恐れずに新しいことに取り組めるよう、心理的な安全性を確保していく。

◎ 地域への関心が低いという現状を打破するため、地域資源を活用した魅力的な学びの機会を提供することで、児童生徒の主体的な学びを促し、地域社会の一員としての意識を高めていく。

⑧規律ある態度

令和８年度「規律ある態度」結果　（質問紙調査結果一覧）

					令和８年度						令和７年度					
					小４	小５	小６	中１	中２	中３	小４	小５	小６	中１	中２	中３
○けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	①	登校時刻	県	92.9	93.6	94.0	97.9	96.2	95.6	93.3	93.9	94.4	97.7	96.6	96.1
				市	93.5	95.3	94.9	97.6	96.5	95.9	92.9	94.3	94.8	96.8	97.7	96.7
		②	授業開始時刻	県	88.4	92.7	95.0	97.4	97.3	97.8	88.4	91.2	95.4	96.6	97.4	97.7
				市	81.6	91.0	95.4	96.9	97.2	97.2	87.5	88.8	95.6	94.1	97.0	96.5
	2 身の回りの整理整頓をする	③	靴そろえ	県	77.1	81.8	87.5	90.8	91.5	93.8	77.8	80.7	87.4	89.6	91.6	93.1
				市	73.0	81.4	86.8	91.5	89.7	93.8	76.6	78.3	87.2	86.5	91.7	93.0
		④	整理整頓	県	80.2	78.6	77.7	75.2	72.7	76.7	81.4	78.1	80.2	72.6	74.8	74.9
				市	77.9	75.6	74.0	73.5	67.5	72.8	77.6	72.7	76.9	66.4	74.0	72.3
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする	⑤	あいさつ	県	80.5	81.8	85.0	89.1	87.7	89.7	81.5	82.0	84.5	88.1	88.1	87.5
				市	74.9	75.7	79.7	89.1	88.9	87.5	80.3	73.9	82.8	86.2	88.1	87.7
		⑥	返事	県	88.9	92.1	94.0	95.4	95.2	95.9	88.5	91.1	93.6	94.8	94.9	95.3
				市	81.1	87.3	91.4	93.9	94.5	92.2	88.0	86.6	92.3	92.3	92.0	95.9
	4 ていねいな言葉づかいに努める	⑦	ていねいな言葉づかい	県	85.9	90.8	91.6	93.3	91.3	93.7	88.7	90.3	92.9	91.7	92.8	93.9
				市	83.5	89.4	90.2	93.0	90.0	92.9	85.9	88.0	92.7	91.3	92.7	94.4
		⑧	やさしい言葉づかい	県	84.3	88.1	88.7	92.0	88.7	92.4	85.5	86.9	89.4	89.5	90.9	90.8
				市	77.5	85.9	87.0	90.1	86.9	91.5	85.1	85.0	88.1	87.0	90.8	89.9
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る	⑨	学習準備	県	82.0	86.9	88.7	93.8	92.9	94.6	82.4	85.9	89.7	92.8	93.6	94.3
				市	76.1	82.3	88.6	92.8	93.4	92.9	83.8	81.7	89.5	92.0	93.8	93.6
		⑩	話を聞き発表する	県	81.5	82.9	82.6	84.2	83.1	85.7	83.8	83.2	83.7	83.4	83.3	85.4
				市	79.6	81.3	80.8	83.1	80.6	81.4	80.8	78.2	82.3	78.6	79.6	81.7
	6 生活のきまりを守る	⑪	集団の場での態度	県	81.6	85.1	86.8	93.5	92.8	94.6	82.9	84.6	87.8	92.0	93.1	94.8
				市	74.1	81.4	81.5	92.7	89.5	92.2	82.2	81.9	87.1	89.2	92.5	94.1
		⑫	掃除・美化活動	県	87.6	88.0	88.0	89.1	87.0	89.7	87.7	87.3	88.9	87.7	88.0	89.2
				市	78.0	83.1	84.0	85.5	82.1	84.5	86.9	85.6	86.6	82.7	86.8	91.0

※ 表中の数字は、質問紙調査で児童が「できる」（「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合（達成率）

※ 青網掛けは80%以上、赤字は県を上回ったもの

○全７２項目（６学年、１２項目）中、５７項目において「できる・だいたいできる」と回答している割合が８０％を超えている。

○「登校時刻」「授業開始時刻」「整理整頓」「あいさつ」「返事」「やさしい言葉づかい」「話を聞き発表する」は、３つ以上の学年で前年度の割合より高くなっている。

●「登校時刻」以外は、多くの学年で県を下回っている。

【考察】

◎高い基本的生活習慣が定着しており、学校や家庭での教育活動が一定の成果を上げているといえる。

◎登校時刻、授業開始時刻、整理整頓、あいさつ、返事、言葉遣い、発表など、複数の学年で前年度よりも改善が見られたことは、継続的な指導の効果が現れていることを示している。今後も、根気強く指導を継続していく必要がある。

報告事項（２）資料

令和８年富士見市いじめのない学校づくり子ども会議の報告について

１　実　施　日　令和８年７月２１日（火）

２　会　　場　針ケ谷コミュニティセンター

３　参　加　者

・来　　賓：市長、富士見市議会議長、いじめのない学校づくり委員
・市役所関係者：教育長、教育委員、子ども未来部長、子育て支援課長、
子ども未来応援センター所長、教育部長、学校統括監、学校教育課職員
教育相談室副室長
・学校関係者：学校長、担当教諭、市内小中学校の代表児童生徒

４　内　　容

市内小中学校の代表児童生徒が一同に会し会議を行った。いじめのない学校づくりに向けて、各学校でこれまで行ってきた効果のあった取組について情報交換を行うとともに、小中学校で連携して取り組むことのできる内容について検討した。話し合いの内容を自校での取り組みに生かせるよう、一人一人が真剣に話し合いに参加していた。



【集合写真】

≪当日の流れ≫

（１）開会セレモニー
（２）ディスカッション（小学校３グループ・中学校２グループに分かれて協議）
（３）小中学校区に分かれて協議
テーマ「ネットいじめを防ぐためにできることを考えよう」
話し合い①ネットいじめを防ぐために、何ができるか考えよう。
話し合い②中学校区で共通して取り組みたいものを決めよう。
（３）話し合った内容の報告（中学校ごと）
（４）閉会セレモニー

５　今後の取組

今回、話し合った「ＳＮＳの使い方、ネットいじめについて知る」「相手の気持ちに立って、発言行動する」「ネットだけに頼らないコミュニケーション・人間関係づくり」等の取組を基にし、各学校においても、一人ひとりが当事者意識をもてるよう、改めて学校の実態に合わせて協議を行い、実践していく。



【中学校区ごとの話し合いの様子】

報告事項（３）資料

イングリッシュサマーキャンプの取組状況について

（１）概要

対　　象：市内在住かつ在学の小学３・５年生
会　　場：ふじみ野交流センター、鶴瀬西交流センター
開催方法：午前コース（9：３０～１２：００）と午後コース（１４：００～１６：３０）に分け２日間にわたり開催
開催日時：３年生（７月２３・２４日、２７・２８日）、５年生（７月３０・３１日）
内　　容：ＡＥＴを講師として、英語のみでの会話やゲーム、クイズや工作などをとおして、英語に親しむ。
参加費　：３年生（２００円）、５年生（５００円）

（２）参加状況

	応募人数	当選人数	当日参加人数
３年生	８０名	７６名	７１名
５年生	４５名	４０名	３７名

※３年生は応募者の希望日程に偏りがあったため、落選者が出る形となった。

（３）主な成果と課題

児童は、８名のＡＥＴとともに、２日間ゲームや工作等の様々なアクティビティを通じて楽しみながら英語にふれることができ、英語を話すことへの抵抗がなくなり、英語学習への意欲やコミュニケーション能力の向上に繋がった。アンケートからは「たくさん英語を話すことができた」、「思いきり楽しめた」、「また参加したい」、「楽しんで英語を話すことができた」、「忘れられない思い出ができた」など、肯定的な意見が多く、満足度の高い取組であったことがわかる。エアコンの効いた室内の活動ではあるが、体を動かす場面も多いことから、熱中症対策として追加分の麦茶を用意して対応した。

（４）活動の様子


【グリーティング】


【魚釣りゲーム】


【射的ゲーム】


【ビンゴゲーム】


【英語カルタ】


【工作】

報告事項（４）資料

第４回小学生ロボコン・富士見市大会について

１　概要

目　　的：小学校で実践しているＳＴＥＭ教育で身に付けた課題解決力や論理的思考力、創造性などを活用する機会を提供することで、さらなる学習意欲の向上や課題解決力等の育成をする。

対　　象：市内在住・在学の小学生

開催方法：小学生ロボコン２０２６全国共通予選会のルールに則り、競技を行い、得点を競う。出場回数が初回及び２回以上の中で、それぞれ最高得点の児童は、小学生ロボコンの全国大会出場の権利が得られる。

表　　彰：得点によって決まる１～３位、ロボットのアイデア等によって決まる市長賞、教育長賞、デザイン賞、機構賞。姉妹都市シャバツ市があるセルビア共和国の発明家ニコラ・テスラの名を冠したニコラ・テスラ賞を新設。

開催日時：令和８年８月２９日（土）９時４０分～１２時

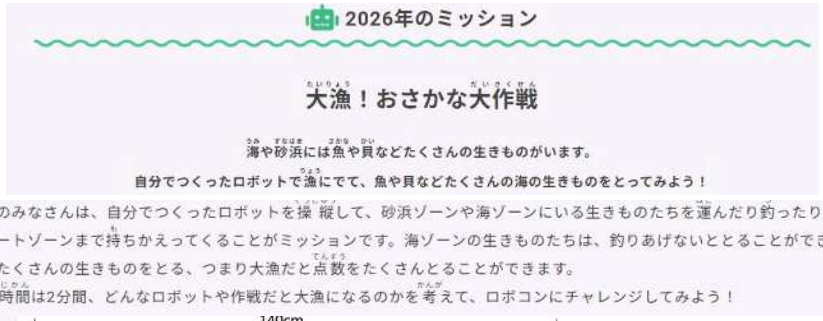
会　　場：富士見市立総合体育館　２階　サブアリーナ

参 加 費：１，０００円

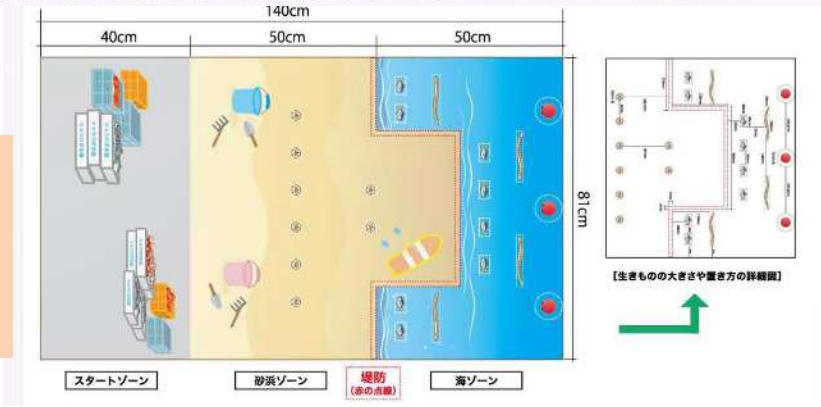
２　大会の様子

①ルール（ミッション）

自作のロボットを使って指定の競技フィールドの中でミッションの達成を目指す。



※　砂浜ゾーンの貝や海ゾーンの生きものをスタートゾーンへ運ぶことで得点になります。



②参加者の様子

開会式



セルビア大使館よりデヤン次席を招待した。

ロボット調整中



自分の競技開始までの時間で、最後のロボット調整を入念に行っていた。

競技中



③ 参加状況

	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
説明会参加人数	４２名	５４名	２６名	２４名
申込人数	４２名	５１名	３４名	３３名
参加人数	２７名	３４名	２８名	２９名
初参加人数	２７名	２１名	１５名	１３名

④ ロボットの様子

【優勝ロボット】



ロボット前方にある円柱の柱が回転することで、マグネットがついている釣り糸が海ゾーンにいるタコまで届くように工夫していた。優勝者は昨年度と同じ児童であり、２連覇となった。

【教育長賞ロボット】



前方から後方まで回転する釣り竿を用いて、一本釣りのように魚をとっていた。竿を振り上げた勢いで魚がマグネットから離れるように設定されていた。

【ニコラ・テスラ賞及び２位ロボット】



ロボットの上部にあるリールで釣り竿の長さを調整して、タコのいる位置まで届かせていた。デヤン次席がカニのコンセプトを絶賛していた。

【市長賞ロボット】



３本の釣り竿の高さを変えて、タコと他の生きものに合わせた竿に設計していた。釣り糸の長さをできるだけ短くして釣った後の揺れを抑えていた。

【デザイン賞ロボット】



３　主な成果と課題

〈成果〉

- すべての参加者が自分の考えるロボットを作成することができた。まったく得点できなかった児童はおらず、アイデアだけでなく得点をとるという目的を達成できるような機構となっていた。デザイン賞ロボットのように、使用数に制限のあるモーターを１つ使って、花のかざりを回転させるなど、得点に関係のなくても自分の思いを表現することができた児童もいた。
- 今回の小学生ロボコン初出場が参加者の１３人であったが、初出場でも経験者と比べて遜色ないロボットを作成している児童もいた。富士見市大会も第４回を迎え、各校における上級生や兄弟関係のつながりがあったためと考えられる。

〈課題〉

- 参加申し込み後のキャンセル人数が減ったことや参加者のロボットに安定した動きがみられることからも、参加者全体のレベルが上がっていることがわかる。その分、大会参加への敷居が高いと感じる児童もいるかもしれない。今年度から初参加の中で最高得点の児童が、全国へ出場可能となったため、初参加でも大会へ挑戦したくなるような動機付けを与える必要である。

報告事項（５）資料

その他

・第４２回水谷東文化祭について

・第１１回社会科展の開催について